OWNER'S MANUAL

アメリカンサウンドシステム

RA-15/DVA-15

この度はアメリカンサウンドシステムRA-15/DVA-15をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。合わせて箱や梱包材も、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

RA-15/DVA-15 取扱説明書

※ミニディスクレコーダー（MDA-15）は別売です。
※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用の前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。

使用禁止

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

通風孔のある機器のみ

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

・この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。

・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。

・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

警告

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

ACアウトレット（電源コンセント）付き機器のみ

●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。

●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。

●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。

●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。

●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

●この製品は、一般屋内用器具です。落下、脱落、焼損、火傷、火災、感電、腐食、変形などの原因となりますので、以下の場所ではご使用にならないでください。

・振動や衝撃の影響を受けるところ

・腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響を受けるところ

・サウナ風呂などの温度が高くなるところ

・湿度の高いところ

●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品やクレンザーなどは、変色や傷を付ける原因となりますので使用しないでください。

注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

電池を使用する機器のみ

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示 ⊕ と ⊖ の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠注意

(プラグを抜く)	●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
⚠	●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。 ●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 ※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
🚫	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
(プラグを抜く)	●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
🚫	●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
⚠	●お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
⚠	●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
🚫	●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
❗	●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業時のけがや事故には十分ご注意ください。
🚫	●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
🚫	●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
⚠	●万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。

再生できるディスクについて

DVA-15

地域番号を確認してください

DVDプレーヤーとDVDディスクの地域番号（リージョンコード）が合っていなければ使用できません。地域番号はそれらの機器、DVDディスクが使用される国または地域ごとに割り当てられています。本機の場合はメディアセンターの底面にリージョンコードが記載されています。DVDディスクはジャケットやケースなどに記載されています。日本で視聴できるディスクには次のような記号があります。
また、業務用ディスクの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。

ALL　など

地域番号	おおよその該当地域
1	アメリカ、カナダ
2	日本、ヨーロッパ(東欧の一部を含む)、中近東
3	東アジア、東南アジア
4	オーストラリア、ニュージーランド、中南米
5	東欧、アフリカ(南アフリカ共和国、エジプトを除く)、インド
6	中国(香港を除く)
ALL	全地域

DVA-15のDVDプレーヤーは、以下のタイプのディスクを再生できます。

名称	ロゴマーク
DVD ビデオ	DVD VIDEO
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R または CD-RW	マークなし
MP3CD	マークなし

※DVDのビデオの中には、ソフトの制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。

目　次

こんなことができます

RA-15 DVA-15

■FM/AMラジオ

・エリアファインメモリーで簡単に地域の放送局をチャンネルメモリーに登録。
・FM/AM 合わせて30局の放送局を登録。
・周波数を自動で合わせるスキャンチューニング装備。

■DVDビデオ、音楽CD、自分で録音したCD-R/RW、MP3ファイルに対応したDVA-15

CDプレーヤーでは

・ダイレクト選曲、スキップ選曲、プログラム再生、ランダム(順不同)再生、リピート(繰り返し、1曲/全曲)再生など便利で使いやすい機能を搭載。

DVDプレーヤーでは

・ズーム機能や、マルチアングル再生(対応ディスクのみ)、チャプターリピート機能、タイトルリピート機能を装備。
・より美しい画像を楽しむためのコンポーネント映像出力端子を装備。

■MP3のファイル再生機能

・フォルダーに対応。階層付けされていたり、フォルダーごとに収録されているファイルの再生が可能。

■別売のMDA-15と組み合わせて簡単にCDをコピー

・CD SYNC（CDシンクロ）機能が、別売のMDA-15と組み合わせて使用することで可能。

■常に最適なサウンド再生を実現するボーズ・テクノロジー

・ボーズの特許P.A.P.回路により、どんな音量でも常に最適な音響バランスを実現。
・リスニングルームの構造からの影響を受けやすい周波数帯域のみを補正するR.A.C.(ルーム・アコースティック・コンペンセーター/BASS、TREBLE調整）搭載。

■目覚まし時計と同じ使い勝手のタイマー機能

・タイマーのON/OFFがリモコンでワンタッチ。まさに目覚まし時計と同様の使い勝手を実現。
・別売のMDA-15と組み合わせればラジオのエアチェックも可能。
・CDの再生が終わると自動的にスタンバイ状態になるオートスリープ機能。
・指定時間後（10分単位で10〜90分）に自動的に電源がスタンバイ状態になるスリープタイマー機能。

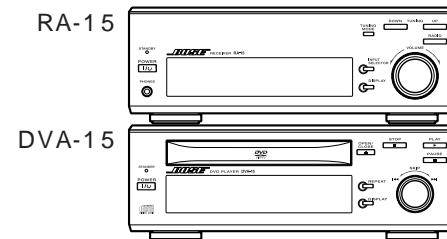
■テレビの電源や入力切換もできるリモコン

・主なメーカーのテレビの電源ON/OFFと入力切換操作も可能なリモコン付属。

セッティングのしかた

RA-15 DVA-15

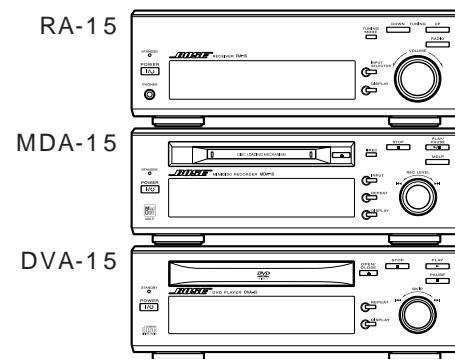
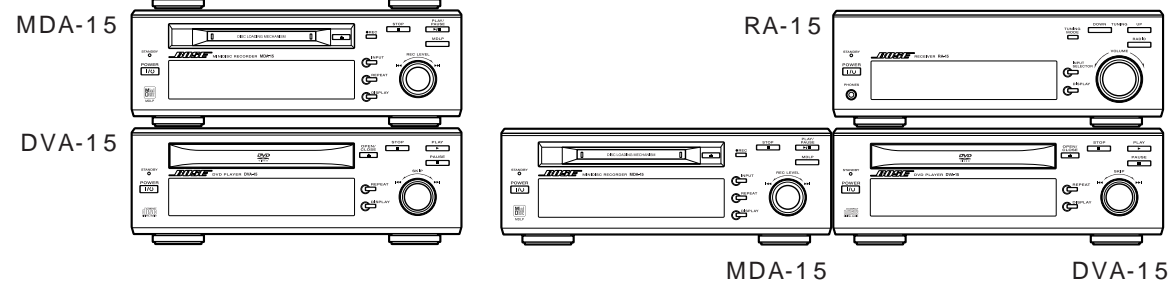
システムの性能を発揮させるため、次のように設置してください。

縦組みに置いた場合（正面図）

ステレオレシーバー（RA-15）が上になるように設置してください。
ステレオレシーバーの上、横部の放熱口をふさがないでください。
放熱が妨げられると火災や故障の原因になります。

別売のMDレコーダー（MDA-15）をご使用になる場合

縦組みに置いた場合（正面図）

横組みに置いた場合（正面図）

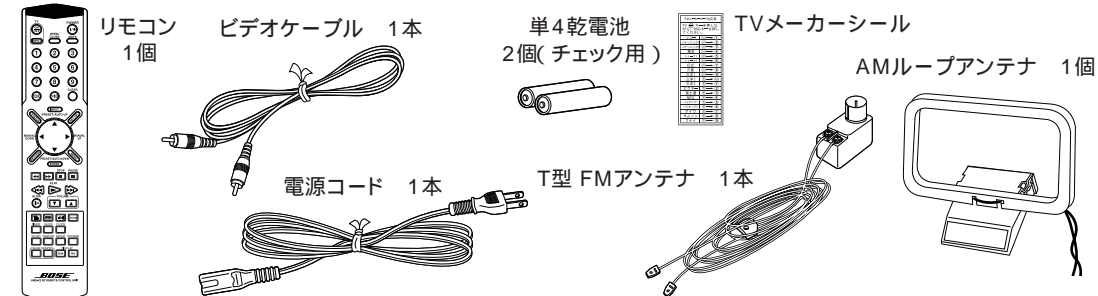
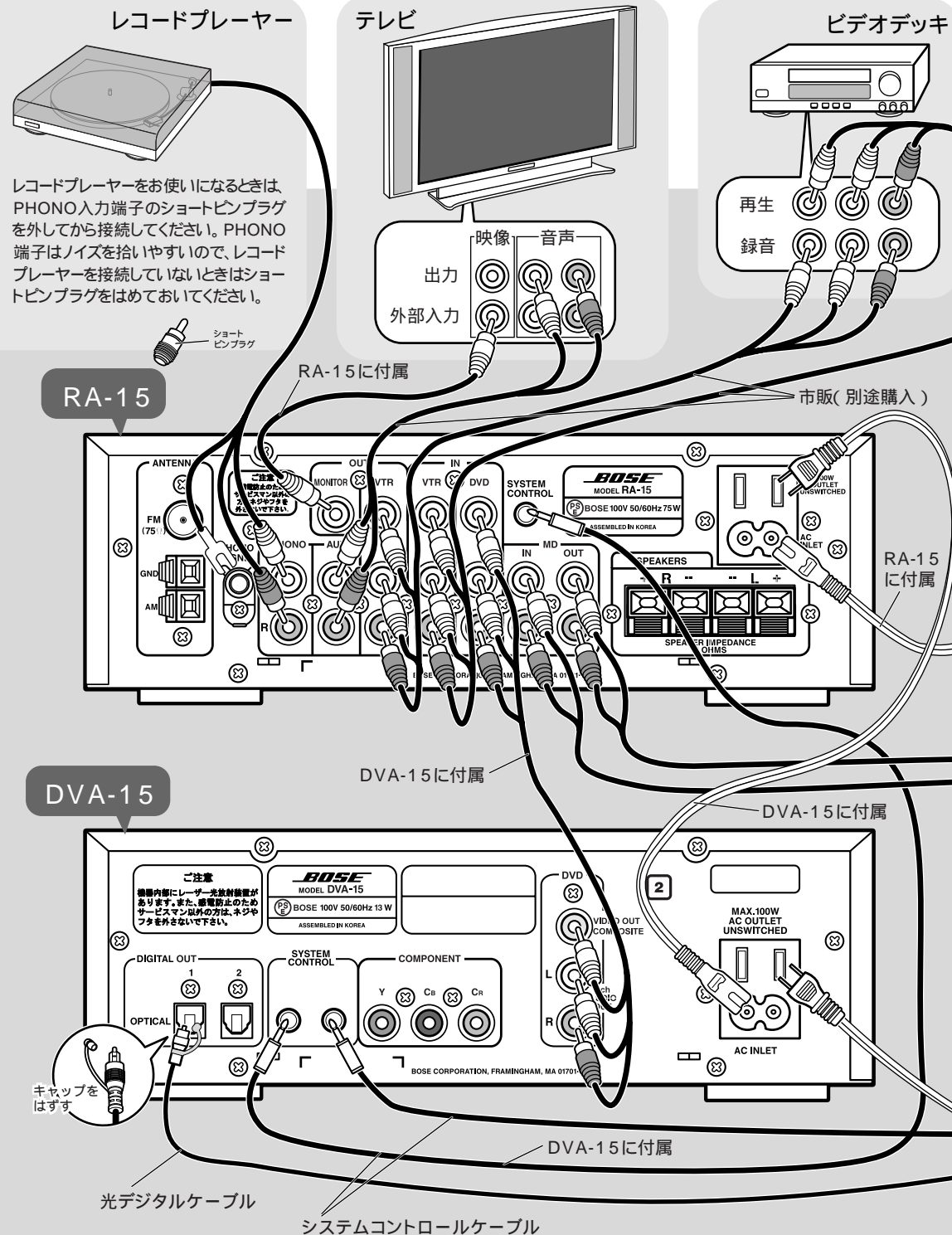
付属品

RA-15 DVA-15

次の付属品がそろっていることをご確認ください。

ステレオレシーバー（RA-15）

- リモコン 1個
- ビデオケーブル 1本
- 単4乾電池 2個（チェック用）
- TVメーカーシール
- AMループアンテナ 1個
- 電源コード 1本
- T型 FMアンテナ 1本

DVDプレーヤー（DVA-15）

接続について

すべての接続が終了するまで、ステレオレシーバー（RA-15）の電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。

接続上の注意

- ●接続する前に、本機に接続するオーディオ機器やビデオ機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ●左右チャンネル、入力出力端子をよく確かめて、正しく（左と左、右と右）接続してください。
- ●プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。
- ●システムコントロールケーブルは、雑音低減のため、アンテナ線から離してください。

レコードプレーヤー

テレビ

ビデオデッキ

※レコードプレーヤーをお使いになるときは、PHONO入力端子のショートピンプラグを外してから接続してください。PHONO端子はノイズを拾いやすいので、レコードプレーヤーを接続していないときはショートピンプラグをはめておいてください。

ショートピンプラグ

映像 音声 出力 外部入力

再生 録音

RA-15に付属

市販（別途購入）

RA-15

RA-15に付属

壁のコンセントへ

すべての接続が終了するまで、コンセントには差し込まないでください。

DVA-15に付属

DVA-15

DVA-15に付属

MDA-15に付属

MDA-15（別売）

キャップをはずす

DVA-15に付属

光デジタルケーブル

システムコントロールケーブル

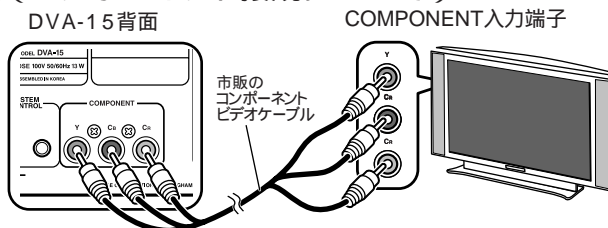
MDA-15に付属

よりきれいな映像でみるには（コンポーネント接続について）

DVDを楽しむときだけコンポーネント接続ができます。その場合DVA-15の**COMPONENT出力端子**とテレビの**COMPONENT入力端子**を市販のコンポーネントケーブルで接続し、テレビ側でコンポーネント入力を選んでください。詳しくはテレビに付属されている取扱説明書をお読みください。

DVA-15背面

COMPONENT入力端子

市販のコンポーネントビデオケーブル

レコードプレーヤーの接続について

フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでMM型カートリッジを使用しているものに限ります。

※レコードプレーヤーの一部にはGNDがないものがあります。レコードプレーヤーの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

重 要

PHONO入力端子へは、レコードプレーヤー以外は接続できません。

本機はレコードプレーヤーのフォノイコライザーを搭載しています。PHONO入力端子へは、フォノイコライザーが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続してください。

※フォノイコライザーを内蔵しているレコードプレーヤーをご使用になる場合は、RA-15のAUX入力端子へレコードプレーヤーを接続してください。

背面の電源コンセントについて

ステレオレシーバー（RA-15）、DVDプレーヤー（DVA-15）には電源コンセントがついています。非連動（最大容量100W）：パワースイッチに関係なく常に電源が供給されています。

※接続する装置の消費電力が、指定電力容量を越えると危険です。接続する前に消費電力を確認してください。

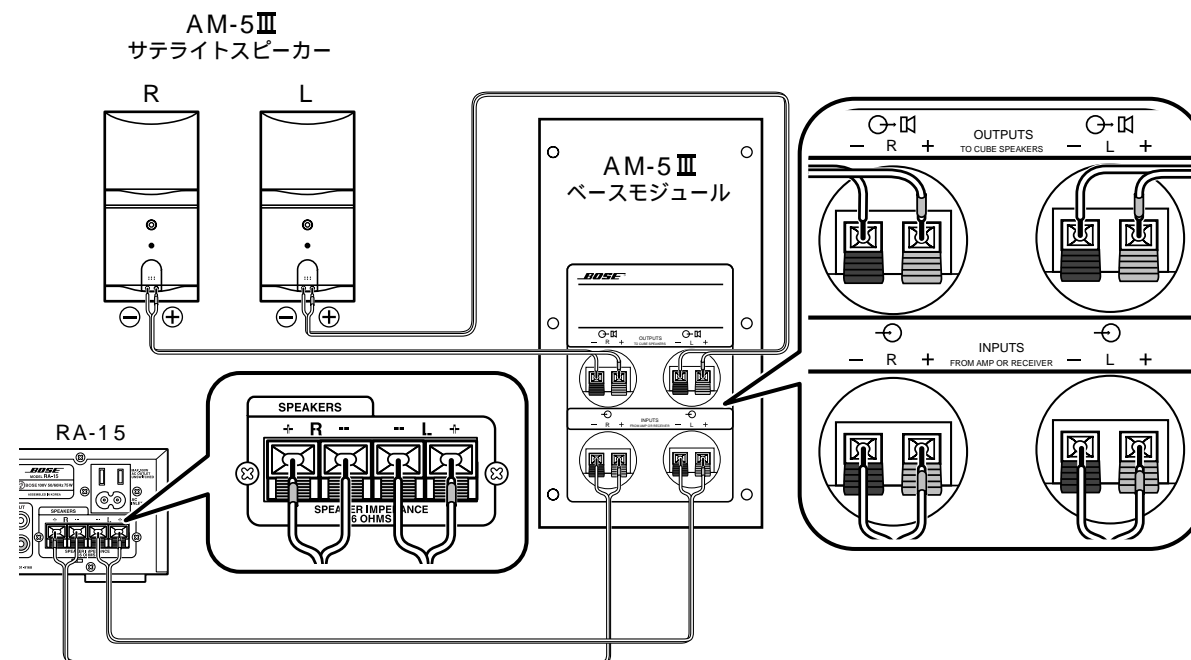
スピーカーの接続

AM-5Ⅲとの接続

スピーカーシステムの接続について

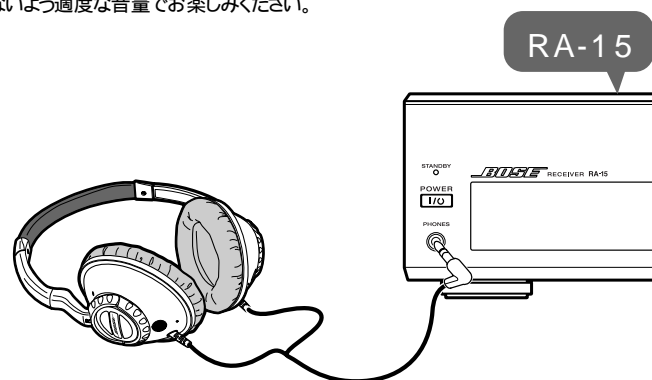
正面からみて左側に置くスピーカーシステムをL端子に、右側に置くスピーカーシステムをR端子に接続してください。また、レシーバーのスピーカー端子とスピーカーシステムは、必ず同じ極性（⊕ と ⊕ 、⊖ と ⊖ ）を接続してください。左右いずれかの極性を間違えて接続すると、中央の音が抜けたようになり楽器の位置がはっきりせず、ステレオの方向感を損なうばかりでなく、全く低音が出なくなりますのでご注意ください。詳しくはスピーカーシステムの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

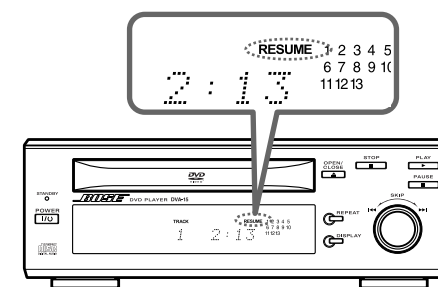
スピーカーコードの芯線部分がスピーカー端子内部の金属部分に確実に接触するように差し込み具合を確かめてください。差し込みが不完全だったり、差し込みすぎて被覆の部分で締めつけたりするとスピーカーから音が出ません。また、スピーカーコードの芯線からはみだしたりして、他の端子に接触しないように注意してください。

ヘッドホンを使って楽しむとき

ヘッドホンプラグを正面パネルのPHONES端子に挿入してください。プラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音が止まります。

⚠ 注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を痛める場合があります。耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

リジュームストップについて

STOP ■ キーを1回押すとリジュームインジケーターが点灯し、ディスクが停止します。リジュームインジケーターが点灯しているときに PLAY ▶ キーを押すと、前回停止させた近辺から再生を始めます。

※MP3再生時は働きません。

アンテナを接続しないと放送は受信できません。
FMアンテナを良好に受信するために、FM専用の屋外アンテナを使用することをおすすめします。
※電波の状況は、地域によって異なります。必ず地元の電器店または、電気工事店にご相談ください。

アンテナの接続は雑音低減のため、システムの背面から離して設置してください。

屋外アンテナの接続

市販のアンテナアダプターと75Ω同軸ケーブルの接続方法

アンテナアダプターはお使いになる同軸ケーブルの太さによって異なります。同軸ケーブルの太さにあったアンテナアダプターをお求めください。

① 外の被覆をナイフなどで約20cm切り取ります。
② 同軸ケーブルを図のように加工します。
③ アンテナアダプターを開け、同軸ケーブルを取付けます。
④ アンテナアダプターのフタをしめます。
⑤ アンテナ端子に取り付けます。

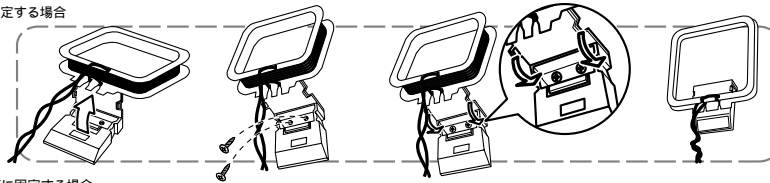
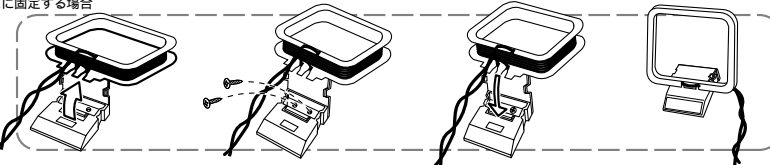
T 型 FM アンテナの接続

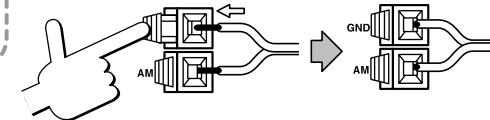
付属のT型FMアンテナをFM75Ωアンテナ端子に接続します。アンテナは先端を延ばし、放送を聴きながら受信が最良になるようにアンテナの方向を決めて、天井や壁に固定してください。このときアンテナの位置が低いと、人が通るたびに受信が不安定になります。

※付属のT型FMアンテナは屋外アンテナを立てるまで暫定的にFM放送を受信するためのものです。音質が良く雑音の少ない受信をするためには、屋外アンテナをご使用することをおすすめします。

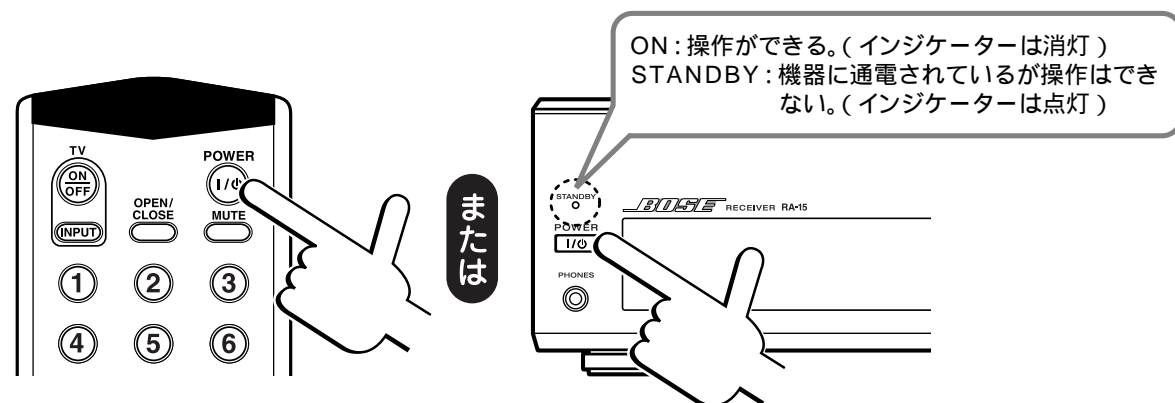
RA-15

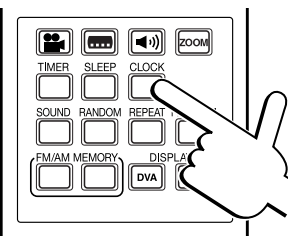
AM ループアンテナの接続

AMループアンテナは図のように組み立ててからAMループアンテナ端子に接続します。

AM アンテナ端子の接続方法

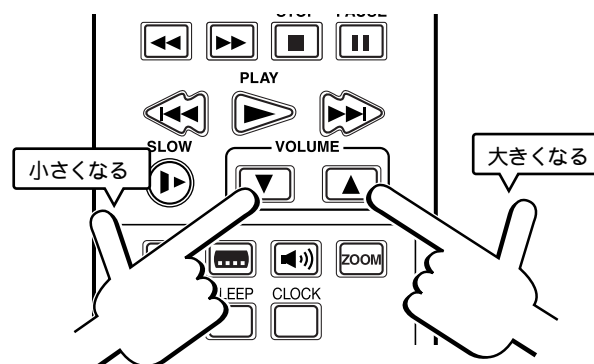
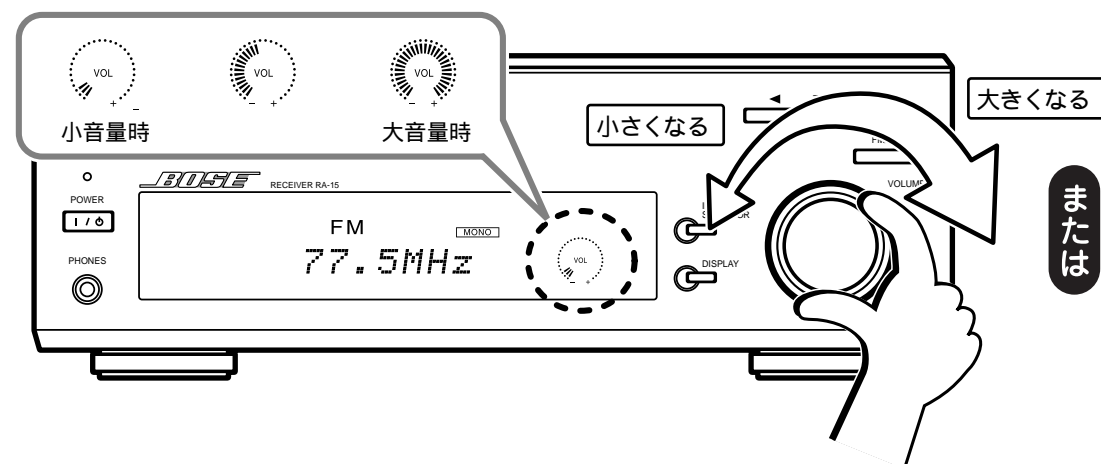
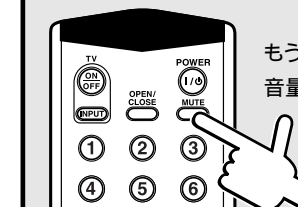
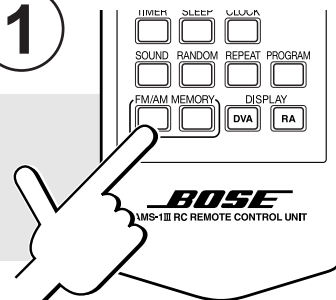
固定レバーを指で下に押しながらコードの先端を差し込みます。

ループアンテナは放送を聴きながら最良の受信状態になる場所をさがして設置してください。受信状態は設置する向きによっても変わりますので、最良の受信状態になる向きにしてください。AMループアンテナを次のような場所に設置すると受信状態が悪くなります。

- **電源コードやスピーカーコードの近く。**
- **本機の上や後ろやビデオデッキ、テレビの近く。**
- **蛍光灯の近く。**

電源のON/STANDBY（スタンバイ）

●システム全体の電源をON/STANDBY（スタンバイ）することができます。
●電源を入れると、最後に聴いていた音源が自動的に選ばれます。

スタンバイ時に時計を表示させるには

省エネモードとは

スタンバイ時に時刻を表示させないと、待機消費電力を抑えることができます（省エネモード:工場出荷時）。

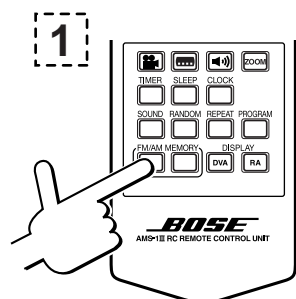
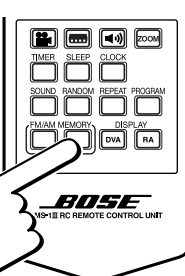
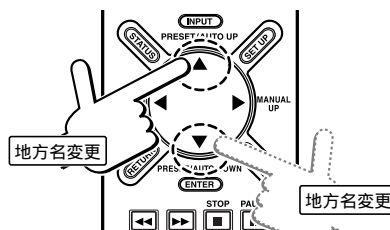
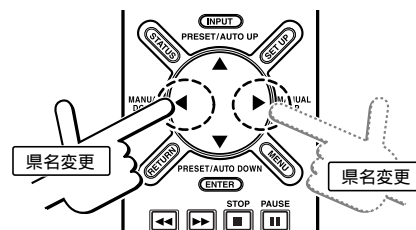
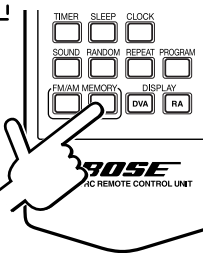
ボリュームを調整する

ラジオを聴く

選曲とプリセット P.21

① ラジオモードにする

本体では RADIOキーを押す

① はじめてラジオを聴くときだけ行ってください

エリアファインメモリーを設定します

1 2

3 地方で選ぶ

4 都府県名を選ぶ

5

エリアファインメモリーについて P.21

② 放送局を選ぶ

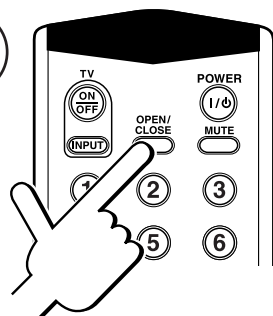
「トン」と短く押す

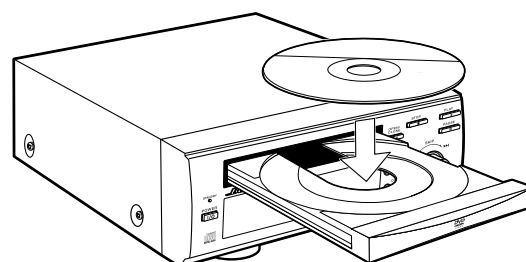
- 2秒以上押し続けると オートスキャンになります。

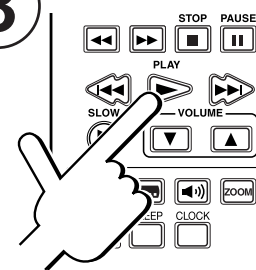
または

- あらかじめ放送局のプリセット番号が わかっているときは数字キーを使って 直接呼び出すことができます。

CD/MP3/DVDを聴く

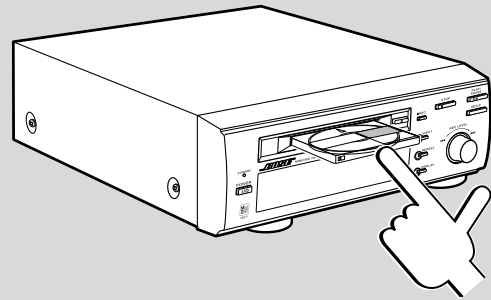
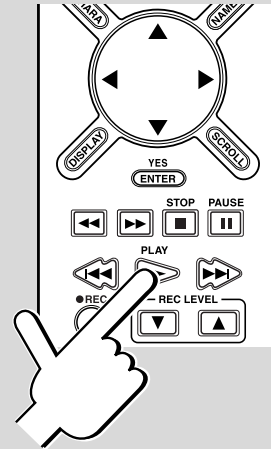
①

本体では OPEN/CLOSEキーを押す

②

●ディスクは、レーベル面を上にしてセットしてください。8cmシングルは内側のディスクガイドにセットしてください。
ディスクは2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。

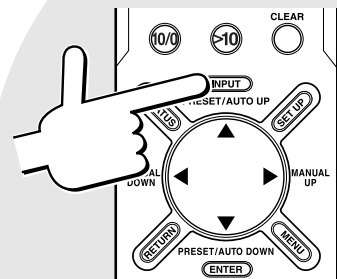
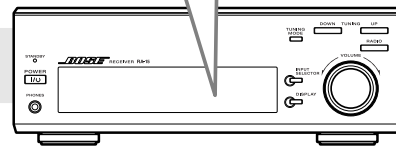
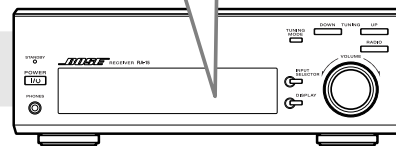
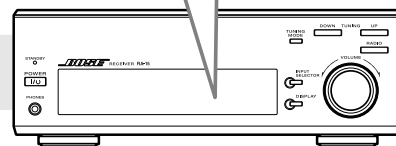
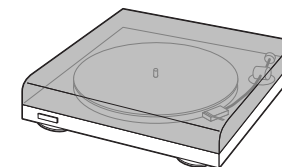
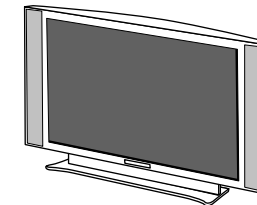
③

本体では PLAYキーを押す

いろいろな再生（CD）P.26
MP3の再生 P.30
再生と設定について（DVD）P.32

MDを聴く

MDA-15（別売）の場合

他社のMDの場合

MDレコーダーの使い方は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

●他社のMDレコーダーを接続して使用する場合は、システムコントロール機能は働きません。

その他の機器を聴く

※ P8 接続方法で接続している場合は“ AUX ”を選ぶと TV の音声を聞くことができます。 AUX 入力端子に TV 以外の機器を接続している場合はその機器の音声が再生されます。

リモコンを他社のテレビに合わせる

お使いのテレビの電源と入力切換を本機のリモコンで操作することができます。

メーカー名	TV (ON/OFF) キーを押しながら、対応キーを押してください。	メーカー名	TV (ON/OFF) キーを押しながら、対応キーを押してください。
ソニー	10/0 → ①	三洋3	① → ①
パナソニック1	10/0 → ②	ビクター	① → ②
パナソニック2	10/0 → ③	富士通	① → ③
東芝	10/0 → ④	NEC	① → ④
シャープ1	10/0 → ⑤	パイオニア1	① → ⑤
シャープ2	10/0 → ⑥	パイオニア2	① → ⑥
日立	10/0 → ⑦	アイワ	① → ⑦
三菱	10/0 → ⑧	サムソン	① → ⑧
三洋1	10/0 → ⑨	フナイ	① → ⑨
三洋2	① → 10/0		

たとえばSONYのテレビ用にリモコンを切り換えるには

TV (ON/OFF) キーを押しながら 10/0 → ① キーの順に押します。

※このリモコンでコントロールできないテレビもあります。

エリアファインメモリーについて

ご使用になる地域と地名または都府県名を選択するだけで受信できる放送局を自動的にメモリーに登録できる機能です。

本機にメモリーされている地名または都府県名は以下の表のとおりです。

地方名	都府県名	表示
北海道		ホッカイドウ
	函館	ハコダテ
	網走・北見	アバシリ・キタミ
	旭川	アサヒカワ
	釧路	クシロ
	札幌	サッポロ
東北		トウホク
	宮城	ミヤギ
	秋田	アキタ
	山形	ヤマガタ
	福島	フクシマ
	青森	アオモリ
	岩手	イワテ
関東		カントウ
	東京	トウキョウ
	茨城	イバラギ
	栃木	トチギ
	群馬	グンマ
甲信越		コウシンエツ
	長野	ナガノ
	山梨	ヤマナシ
	新潟	ニイガタ

地方名	都府県名	表示
北陸		ホクリク
	石川	イシカワ
	福井	フクイ
	富山	トヤマ
東海		トウカイ
	愛知	アイチ
	岐阜	ギフ
	静岡	シズオカ
	三重	ミエ
近畿		キンキ
	大阪	オオサカ
	兵庫	ヒョウゴ
	京都	キョウト
	滋賀	シガ
	和歌山	ワカヤマ
中国		チュウゴク
	広島	ヒロシマ
	山口	ヤマグチ
	鳥取	トットリ
	島根	シマネ
	岡山	オカヤマ

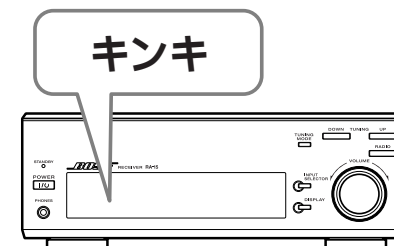
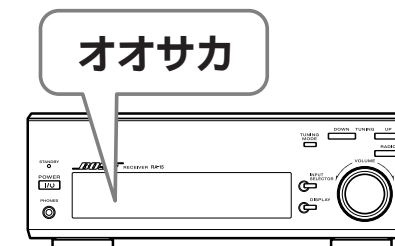
地方名	都府県名	表示
四国		シコク
	香川	カガワ
	愛媛	エヒメ
	高知	コウチ
	徳島	トクシマ
九州		キュウシュウ
	福岡	フクオカ
	佐賀	サガ
	長崎	ナガサキ
	熊本	クマモト
	大分	オオイタ
	宮崎	ミヤザキ
	鹿児島	カゴシマ
	沖縄	オキナワ

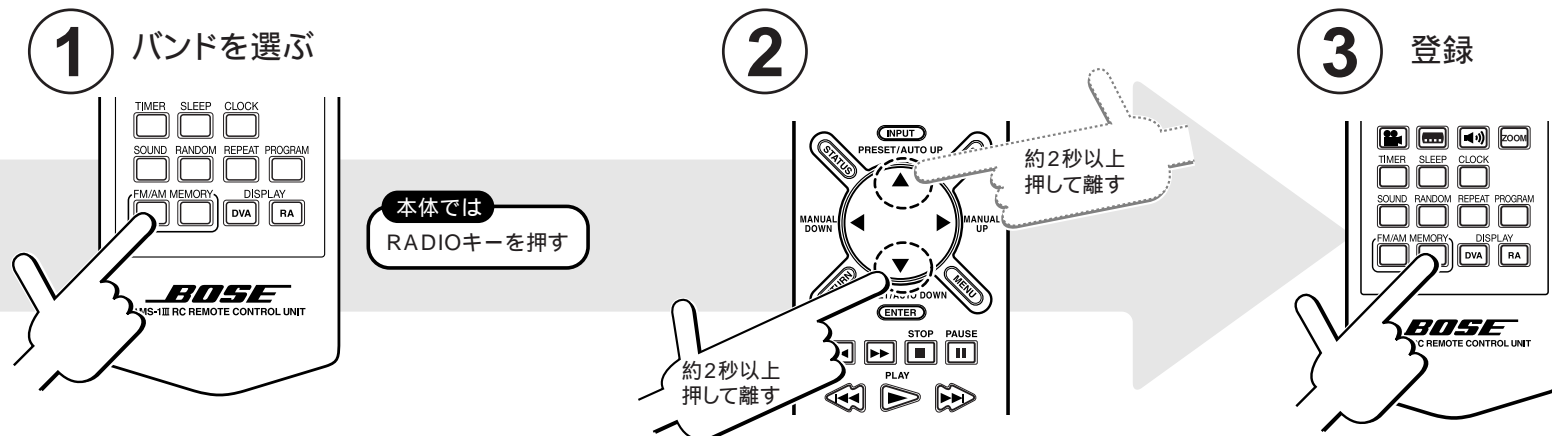
※埼玉県、千葉県、神奈川県は東京の放送局に含まれていますので東京を選んでください。

※奈良県はお住まいの地域に合わせて隣接県を選んでください。

たとえば大阪の場合は

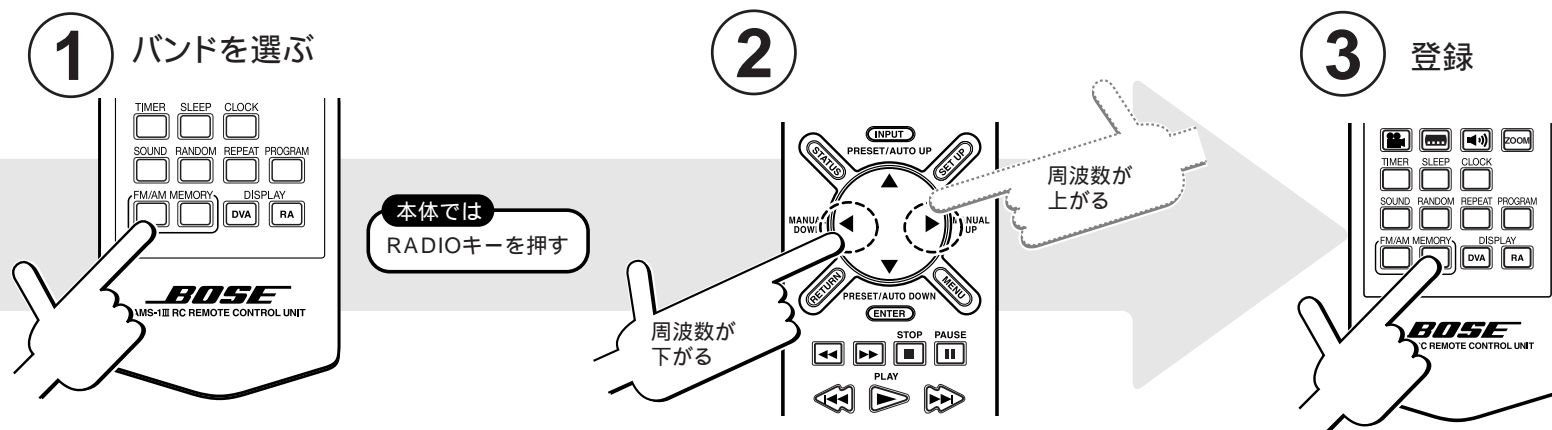
MEMORYキーを2秒以上押して、カーソルキーの ▲、▼ キーで“ キンキ ”を表示させ ◀ 、▶ キーで“ オオサカ ”を選びMEMORYキーを押します。

•地方名を選ぶ

•都府県名を選ぶ

スキャンチューニング

エリアファインメモリーに登録されていない放送局を追加したい場合や、
いくつかの地域にまたがって受信する場合の登録のしかたです。

●空いているプリセットチャンネル番号の一番小さい番号に登録されます。

●プリセットメモリーはバンドに関係なく登録されます。登録できるチャンネル数はFM、AM放送局に関係なく30局まで登録できます。

マニュアルチューニング

電波が弱いあるいは雑音が多い場合はスキャンチューニングができません。
この場合はマニュアル（手動）で選局を行い、ＦＭまたはＡＭ放送局を受信
します。

●空いているプリセットチャンネル番号の一番小さい番号に登録されます。

●マニュアル受信したFM放送局は、全てモノラルになります。

選局とプリセット（ラジオ）

プリセットチャンネルの消去

① バンドを選ぶ

② 消去したい放送局を選ぶ

③

本体では RADIOキーを押す

プリセットした放送局の呼び出し

① バンドを選ぶ

②

または

本体では RADIOキーを押す

プリセットNOを入力

プリセットチャンネル放送局名の変更 と登録

① バンドを選ぶ

② 変更または登録したい放送局を選ぶ

③ NAME INモード

本体では RADIOキーを押す

④

最後の文字を入力するまでこの操作を繰り返します。

⑤ 登録

●ひとつ前の欄に戻るとき　●スペース（空欄）を入力する場合　●途中でやめたい時

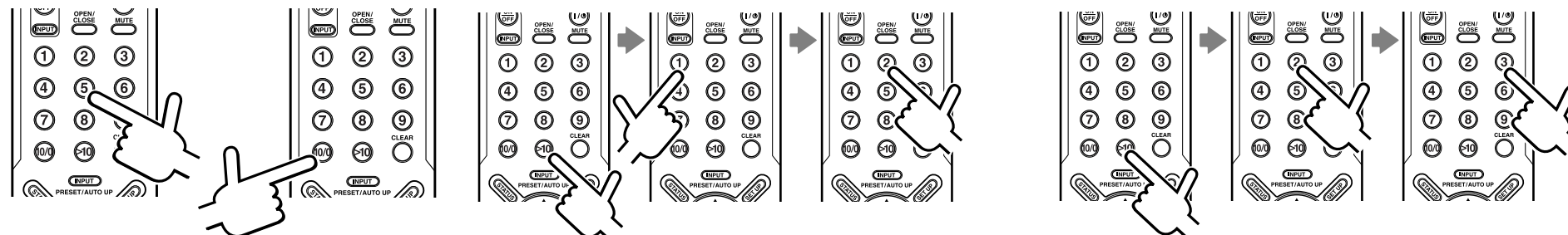
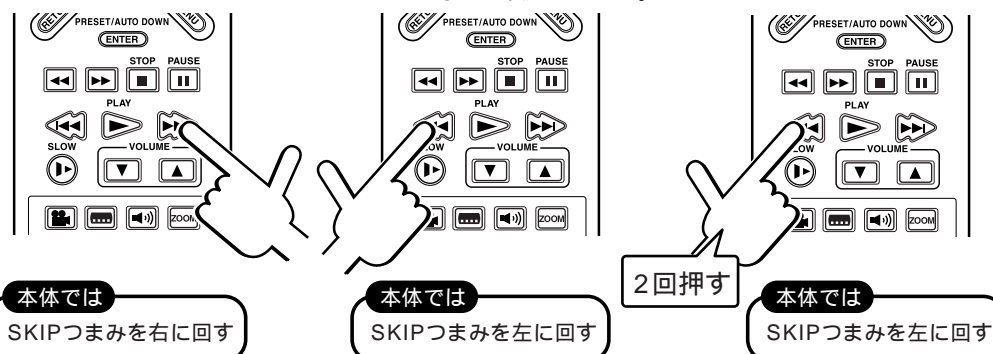
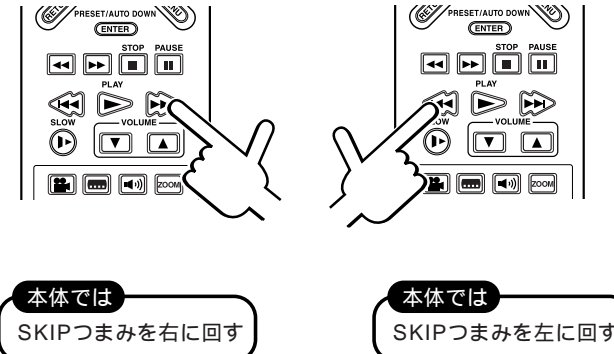
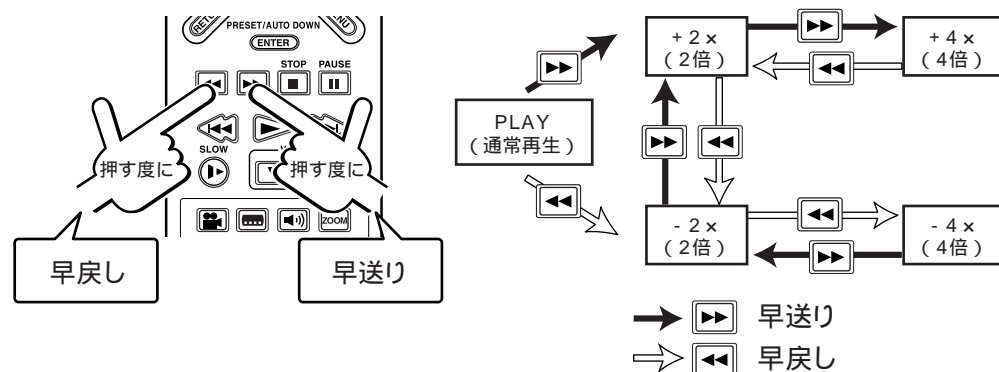
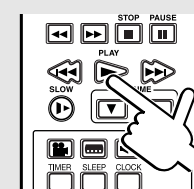
※スペースが表示されるまで▲、▼キーを押してください。

最大10文字まで入力できる。10文字目を入力して、ENTERキーを押すと登録が完了する。
10文字まで入力しないで登録を完了する場合はMEMORYキーを押す。

入力できる文字について

［スペース］A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z アイウエオカキクケ
コサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメ
モヤユヨラリルレロワンヲァィゥェォャュョッ゛゜ー・
！"＃＄％＆'＜＞＊＋，－．／：；＝？￥←↑→↓α
β μ ▶◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 （再び）［スペース］ A B……

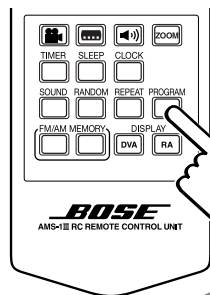
ダイレクト選曲

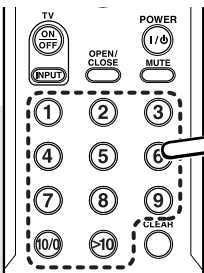
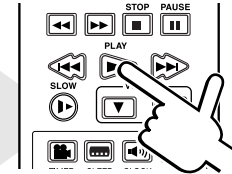
聴きたいトラックNoを入力

スキップ選曲

早戻し/早送り

●DVDビデオ再生時の
早戻し、早送り中は音が出ません。

好きな曲を好きな順番に聴くには（プログラム再生モード）

① ②

停止中

好きな曲（トラックNO）を順番に続けて入力

ダイレクト選曲 P.26

③ プログラム再生

本体では PLAYキーを押す

●プログラム再生モード時の停止について
次の3種類の停止状態があります。
- ・リジューム ストップ（11ページ参照）……STOPキーを1回押す。
- ・プログラム内容を残したまま停止（プログラム時ストップ）……STOPキーを2回押す。
  ※次回PLAYキーを押すと、プログラムの1曲目から再生を始めます。
- ・プログラム再生モードを解除して停止（完全停止）……STOPキーを3回押す。

●プログラムできる最大曲数は30曲です。
●リジュームストップ（11ページ参照）時には働きません。ストップボタンを押してリジュームインジケーターを消灯させてから行ってください。

●プログラム再生を解除するには
停止させる

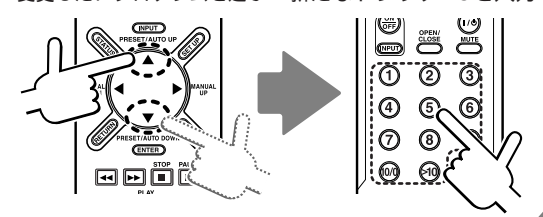
3回押す

プログラムを変更する場合

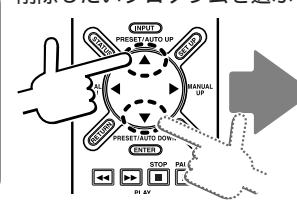
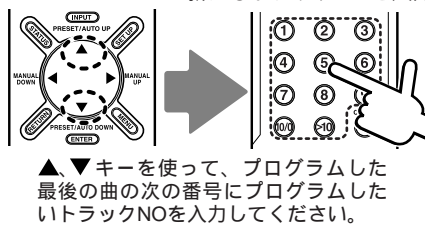
プログラム時ストップ

変更したいプログラムを選ぶ　新たなトラックNOを入力

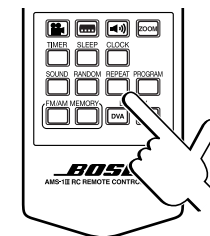
プログラムを削除する場合

プログラム時ストップ

削除したいプログラムを選ぶ　削除

プログラムを追加する場合

プログラム時ストップ

新たなトラックNOを入力

※▲、▼キーを使って、プログラムした最後の曲の次の番号にプログラムしたいトラックNOを入力してください。

リピート再生

本体では REPEATキーを押す

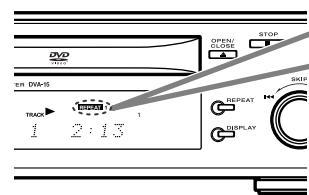
●解除する場合

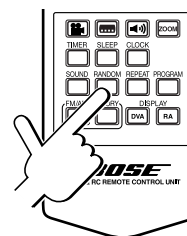
インジケーターの「REPEAT 1」、「REPEAT ALL」が消灯するまでキーを押します。

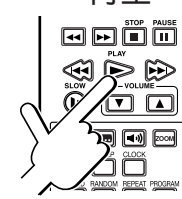
押す度にインジケーターが変化

REPEAT 1 …現在聴いている1曲だけを繰り返し再生します。

REPEAT ALL …ディスク全て、あるいはプログラムした曲全てを繰り返し再生します。

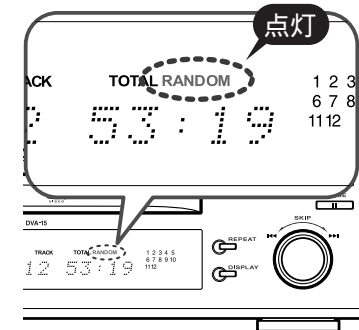
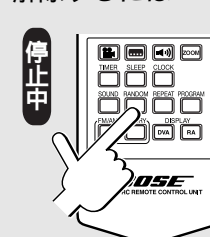
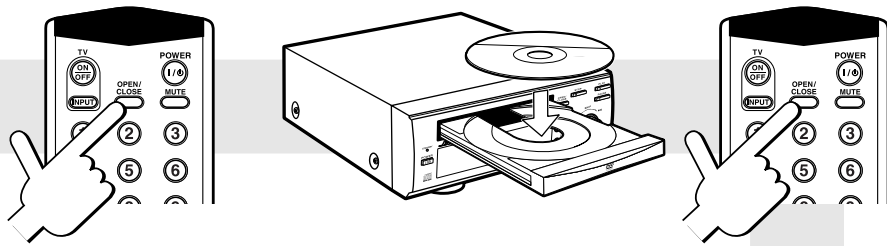
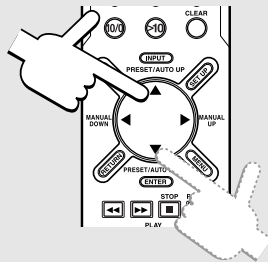
インジケーターが消灯…通常再生。

ランダム再生

停止中

※MP3時のみ再生中でもランダム再生に切り換えることができます。

再生

本体では PLAYキーを押す

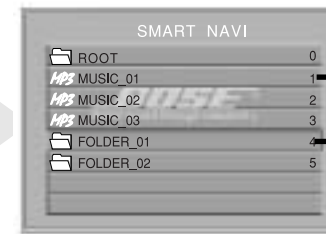
●解除するには

停止中

MP3の再生

再生のしかた

フォルダーとファイルが混在している場合

ファイルだけの場合

●ファイル、またはフォルダーを選ぶ

SMART NAVI
ROOT 0
MUSIC_01 1
MUSIC_02 2
MUSIC_03 3
FOLDER_01 4
FOLDER_02 5

再生

●停止中にSTOPキーを押すと、一つ前の階層へ戻ります。

SMART NAVI
FOLDER_01 1
MUSIC_04 2
MUSIC_05 3
FOLDER_03 4

再生

一つ前の階層へ

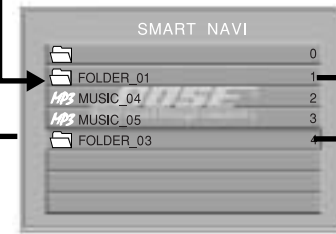
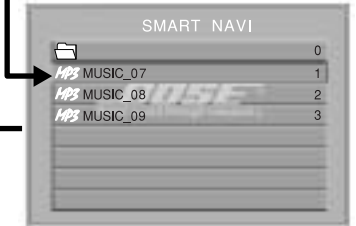
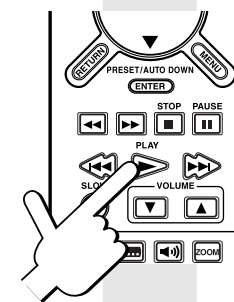
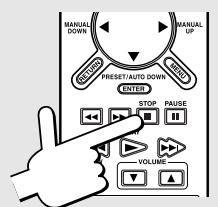
1曲目から再生

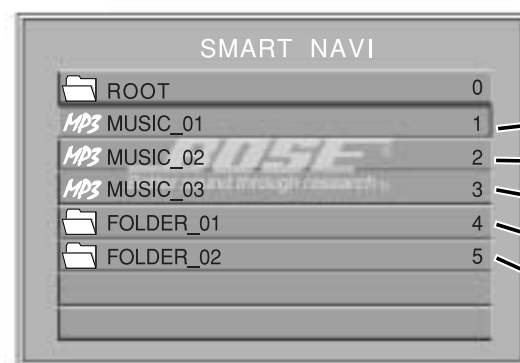
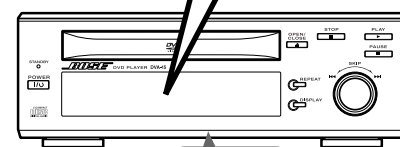
SMART NAVI
MUSIC_07 1
MUSIC_08 2
MUSIC_09 3

一つ前の階層へ

停止

1曲目から再生

SMART NAVI
MUSIC_01 1
MUSIC_02 2
MUSIC_03 3
MUSIC_04 4
MUSIC_05 5

●停止するには

表示について

たとえば、MP3のファイルが3曲、フォルダーが2つあるディスクを再生した場合

MP3のいろいろな再生について

●スキップ選曲 スキップ選曲 P.26

いろいろな再生（CD）のスキップ選曲と同じ操作です。

●リピート再生 リピート再生 P.28

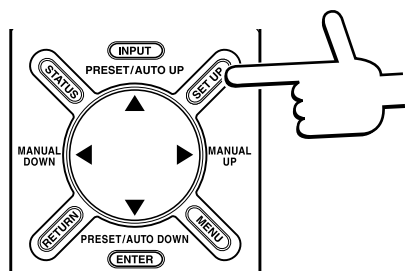
いろいろな再生（CD）のリピート再生と同じ操作です。

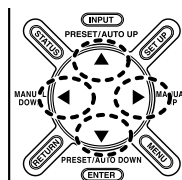
・REPEAT ALL…選択したフォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。

・REPEAT 1…選択した1つのファイルを繰り返し再生します。

●ランダム再生 ランダム再生 P.29

選択したフォルダ内のファイルをランダム（順不同）再生します。

システム設定画面の表示

●DVDビデオディスクがセットされていることと、CD/DVDモードになっていることを確認してください。

設定を変更するには

▲、▼キーで項目変更、◀、▶キーで各設定を行います。
ENTERキーで確定します。

システム設定

No.	項目	設定
1	TV画面設定	4:3 レターボックス / 4:3 パンスキャン / 16:9ワイドスクリーン
2	スクリーンセーバ	入 / 切
3	明るさ	標準 / 強 / 弱
4	コントラスト	−4 −3 −2 −1 0 +1 +2 +3 +4
5	D.R.C.	0 1 2 3 4 5 6 7 8
6	PCM96kHz	48kHz / 96kHz
7	ドルビーデジタル	PCM / ビットストリーム
8	D T S	PCM / ビットストリーム
9	視聴規制設定	1 2 3 4 5 6 7 8 切 — — — — OK 暗証番号の変更
10	初期設定	OK
11	ヘルプ	

① TV画面設定

4:3レターボックス…標準(4:3)の画面に16:9の映画などの画像を画面の左右いっぱいまで映して上下に余白を入れる表示モードです。このモードでは縦横比が正しく、全ての映像が表示されますが、上下に黒い帯が入り、表示面積が小さくなってしまいます。

4:3パン・スキャン…標準(4:3)の画面に16:9の映画などの画像を元のままの縦横比で映し、映像の左右をカットして画面全体に表示します。

16:9ワイドスクリーン…ワイド全画面が表示されます。

※スクイーズ収録のDVDソフトには「16:9」の表示があり、ディスプレイがワイド画面のときに最適化された映像が収録されていることを示します。これを通常のディスプレイにうつすと左右が圧縮されて縦長に表示されるが、レターボックスもしくはパン・スキャンで4:3に合わせて見ることができます。

② スクリーンセーバ

入…停止状態が一定時間続くとスクリーンセーバを働かせます。
切…停止状態の画面表示を続けます。

③ 明るさ

標準…映像の標準の明るさです。
強…映像の明るさを強調します。
弱…映像の明るさを抑えます。

④ コントラスト

映像の明暗の差を調整します。

⑤ D.R.C.(ダイナミックコンプレッション)

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音まで聴きやすくするレベルを設定します。8がもっとも小さい音量で再生するときの設定です。

⑥ PCM96kHz

48kHz…PCM96kHzを48kHzにダウンサンプリングして出力します。
96kHz…PCM96kHzをそのまま出力します。

⑦ ドルビーデジタル

PCM…PCM信号で出力します。
ビットストリーム…デジタル信号をそのまま出力します。

⑧ DTS

PCM…PCM信号で出力します。
ビットストリーム…デジタル信号をそのまま出力します。

⑨ 視聴規制設定

DVDプレーヤーの再生を規制します。
レベル1:最大規制
レベル8:最小規制
切　:規制のない状態
←→キーで選択します。

設定方法は P.38参照

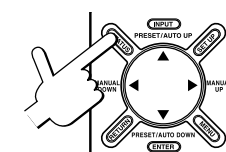
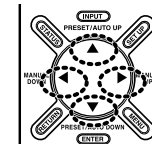
⑩ 初期設定

視聴規制以外を初期設定に戻します。

⑪ ヘルプ

各設定の意味や使い方などが表示されます。

DVD ステータスバーについて

ステータスバーの表示

設定を変更するには

◀、▶キーで項目変更、数字キーで各設定を行います。
ENTERキーで確定します。

T01 / 02　C03 / 18　0:40:18

収録されているタイトル数

収録されているチャプター数

現在、再生中のタイトル NO
タイトルサーチができます。
数字キーでタイトル NO を選び、ENTER キーで確定します。

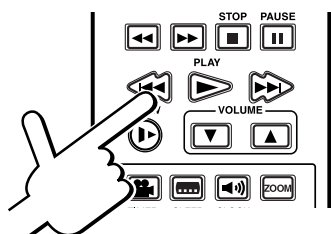
現在、再生中のチャプター NO
チャプターサーチができます。
数字キーでチャプター NO を選び、ENTER キーで確定します。

経過時間
タイムサーチができます。
数字キーを押して、ENTER キーで確定します。
たとえば、
0:32:43 の場面から再生する場合
③ ⇨ ② ⇨ ④ ⇨ ③ ⇨ ENTER
0:01:08 の場面から再生する場合
① ⇨ 10/0 ⇨ ⑧ ⇨ ENTER
1:23:08 の場面から再生する場合
① ⇨ ② ⇨ ③ ⇨ 10/0 ⇨ ⑧ ⇨ ENTER

DVD 頭出し

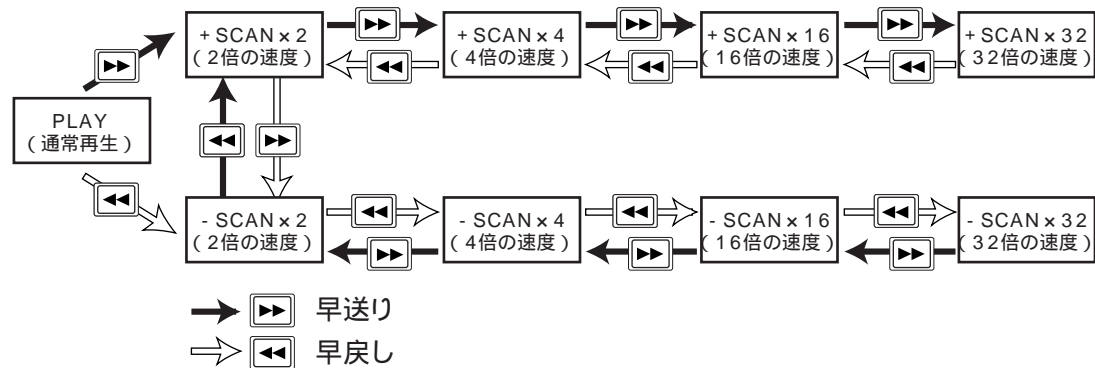
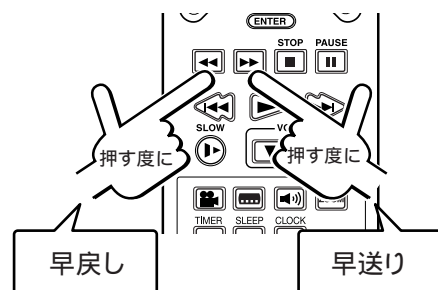
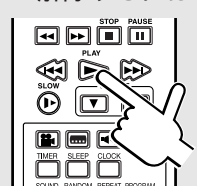
次のチャプターへ

ひとつ前の チャプターへ

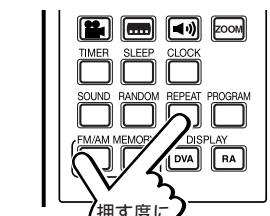
本体では SKIPつまみを右に回す

本体では SKIPつまみを左に回す

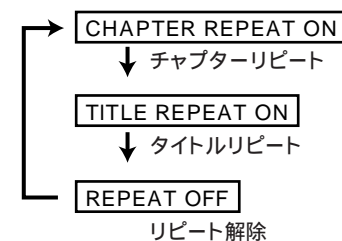
DVD 早戻し/早送り

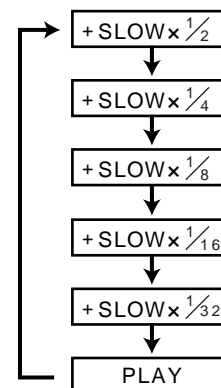
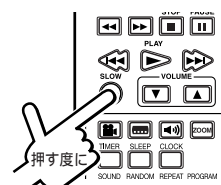
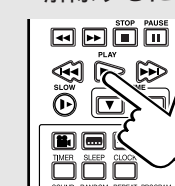
再生中

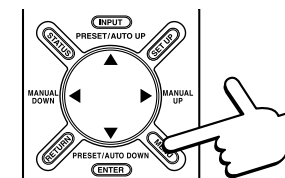
→ ▶▶ 早送り
⇨ ◀◀ 早戻し

●解除するには

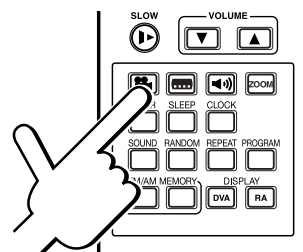
●早戻し、早送り中には音が出ません。

DVD リピート再生

押す度に画面に表示される 情報が変わる

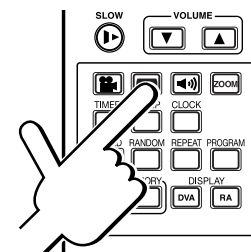
本体では REPEATキーを押す

DVD スロー再生

スロー再生の速度が変化

●解除するには

●スロー再生中は 音が出ません。

このページに記載されている機能は、再生するソフトによっては働かない場合があります。また、メニュー画面でしか変更できない場合もあります。その場合はディスクのメニュー画面に切り換えて各機能の設定を行ってください。

ディスクのメニュー画面にするには、MENU キーを押します。

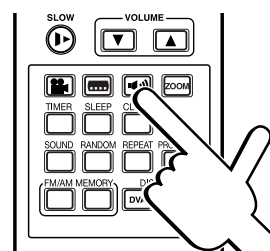
DVD アングルの選択

マルチアングルで記録されている場所では好きなアングルが選べます。

♪：注意

ディスクにアングルのデータが記録されていない場合は働きません。

画面に表示される情報

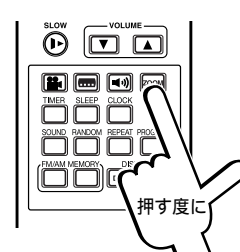
DVD 字幕の切り換え

字幕が収録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切り換えや字幕表示のON/OFFを行います。

DVD 音声の選択

DVDに記録されている音声トラックで選びます。

DVD ZOOM（ズーム）

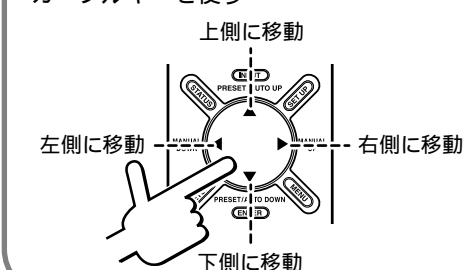
映像の一部分を拡大する

押す度に

ZOOM×1（元のサイズ）

ZOOM×2（2倍に拡大）

ZOOM×4（4倍に拡大）

拡大する部分を移動させるには

カーソルキーを使う

●解除するにはZOOMキーを元のサイズになるまで押してください。

視聴制限（パレンタルコントロール）について

視聴制限とは、国ごとの規制レベルに合わせて視聴年齢制限のレベルが設定されているディスクの再生を制限するというDVDの機能の一つです。制限の仕方はDVDによって異なり、ディスクによっては子供に見せたくないシーンをカットしたり、全く再生できないようにする、別の画面に差し換えるなどするものもあります。DVA-15では子供がレベル設定を変えることのないように、暗証番号で設定を保護することができます。
通常各DVDにおける視聴許可レベルは全米映画協会(MPAA)によって設定された標準の映画観客指定に準拠しています。 これらの視聴許可レベルは1(どんなに小さい子供でも見せてよい)から8(成人向け)まであります。

視聴許可レベル	視聴（年齢）制限の およそのめやす	全米映画協会 映画観客指定
8	最も厳しい視聴制限	
7	17歳以下入場禁止	NC-17
6	17歳未満保護者同伴要	R
5	中学生以下保護者同意要	
4	13歳未満保護者同意要	PG-13
3	年少者保護者同意要	PG
2	ほぼ年齢制限なし	
1	一般（年齢制限なし）	G

※適切な視聴許可レベルは、実際に視聴制限のレベルが設定されているDVDソフトをお買い上げになられたときに、お客様自身で動作させて、ご確認ください。

視聴許可レベルの設定

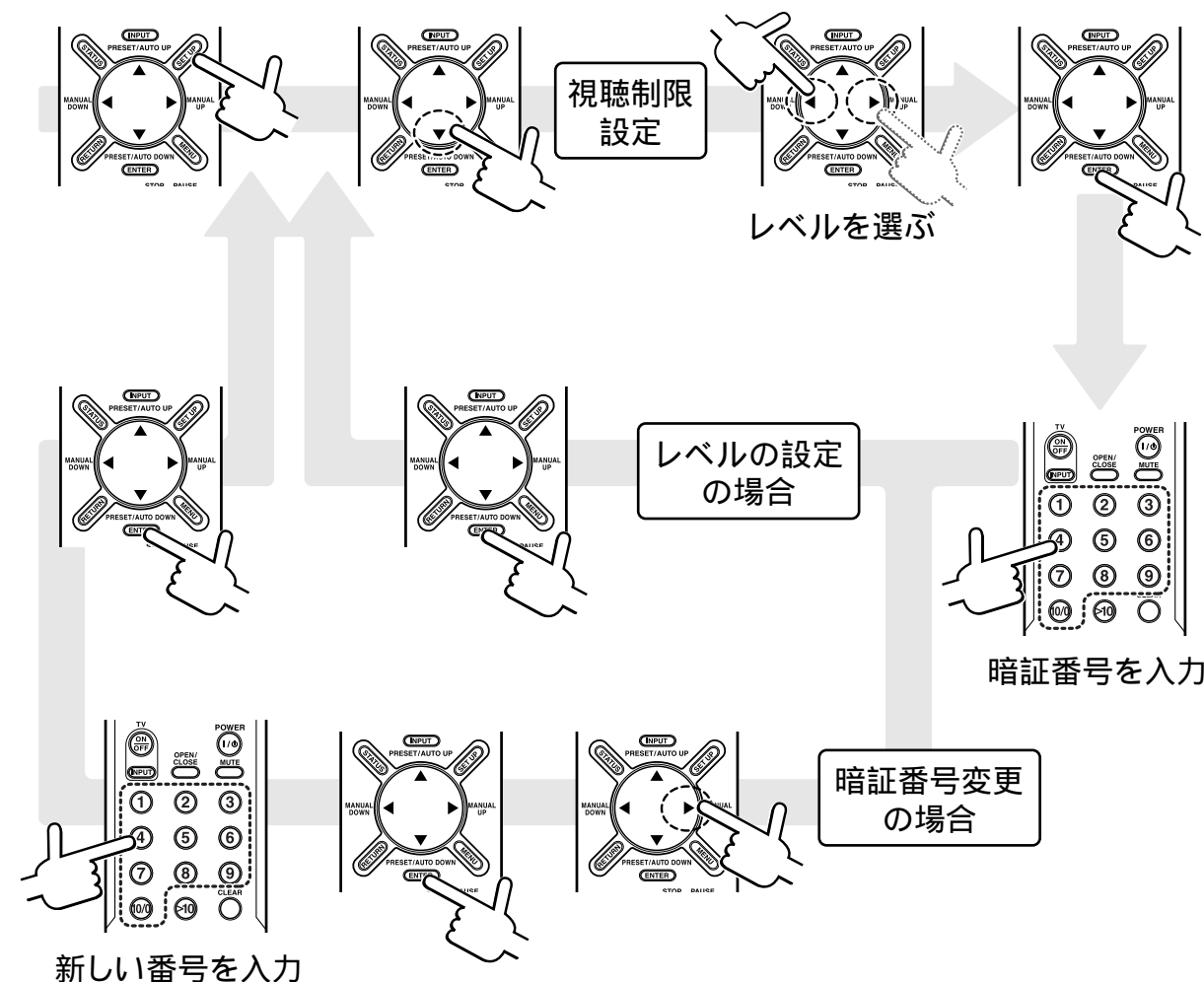
再生するDVDソフトにレベル設定がされている必要があります。本機で視聴許可レベルを設定しても、DVDソフトにレベル設定がされていなければ、この機能は使用できません。

視聴許可レベルの意味

「一般（年齢制限なし）（レベル1）」とは、どんな小さな子供にも見せることができる内容であるという意味です。本機で視聴許可レベルを［1］にすると、レベル2～8に設定してあるDVDソフトを視聴することができなくなるという意味です。

DVA-15の レベル設定	視聴可能なソフトの視聴制限レベル
8以下	8 7 6 5 4 3 2 1
7以下	7 6 5 4 3 2 1
6以下	6 5 4 3 2 1
5以下	5 4 3 2 1
4以下	4 3 2 1
3以下	3 2 1
2以下	2 1
1	1

視聴規制レベルの変更と暗証番号の変更

●CD/DVDモードになっていることを確認してください。

●暗証番号の初期設定（工場出荷時）番号は「1 2 3 4」です。はじめて視聴規制レベルの設定を変更する場合は、「1 2 3 4」と入力してください。また、暗証番号を忘れてしまった場合、「2 6 7 3」を入力すると暗証番号が初期設定番号に戻ります。もう一度「1 2 3 4」と入力して暗証番号を新たに設定してください。

再生と設定について（DVD）

時計を合わせる

ON時

①

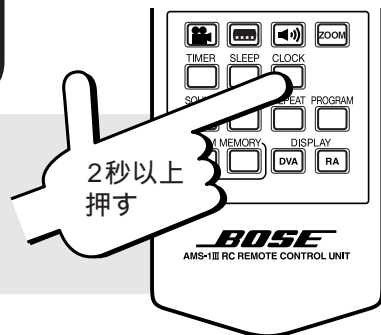
② 曜日を合わせる

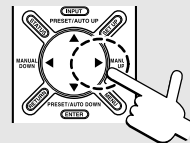
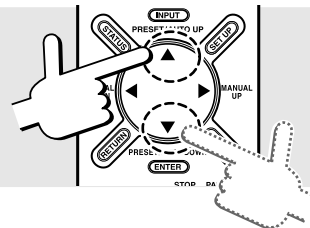
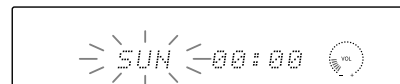
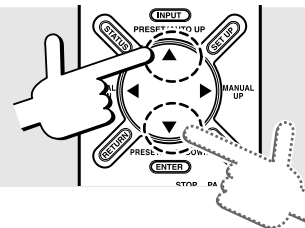
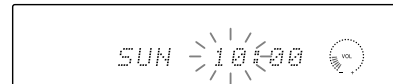
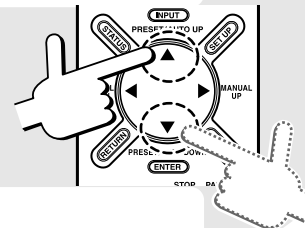
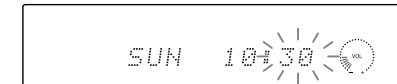
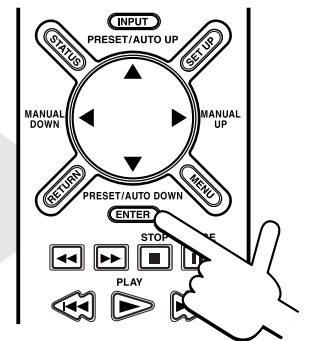
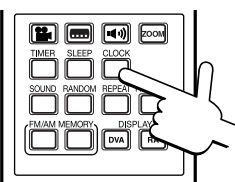
SUN 00:00

③ 時(Hour)を合わせる

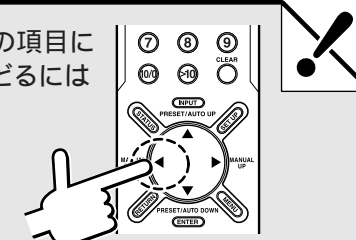
SUN 10:00

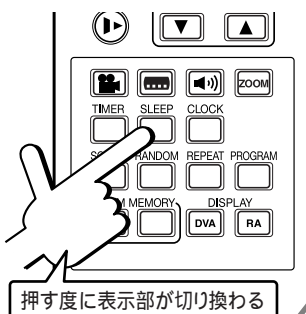
④ 分(Min)を合わせる

SUN 10:30

⑤ 入力決定

♪ ・2秒以上長押しすると現在時刻の設定ができます。
・長押ししないと「時計表示の切り換え」動作になります。

時計表示の切り換え

本体では DISPLAYキーを押す

押す度に、表示部が時計表示と時計以外の表示に切り換わります。
(表示部の切り換えについて(54ページ)参照)

●前の項目にもどるには

スリープタイマー

スリープタイマーをセットするとCDやMD、ラジオなどを聴きながらおやすみになっても、自動的に電源が切れて演奏を終了させることができます。

表示部		インジケーター
SLEEP AUTO	CDやMD※の演奏終了時に電源が切れます。	AUTO SLEEP
SLEEP 90min … SLEEP 10min	90〜10分後に電源が切れます。SLEEPキーを押すたびに、10分単位で設定ができます。	SLEEP
SLEEP OFF	スリープタイマーを解除します。	

※ MDA-15と組み合わせて使用するときのみ。

●リピート再生モードを選んでいる場合は、STANDBY(スタンバイ)モードにはならないので、リピート再生モードを解除してから行ってください。

●DVDビデオの場合ソフトにより自動的にSTANDBY(スタンバイ)モードにならないソフトもあります。

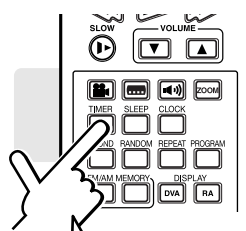
タイマーの使い方

タイマーをセットすると目覚ましに好きな曲を鳴らしたり、放送内容をタイマー録音することができます。

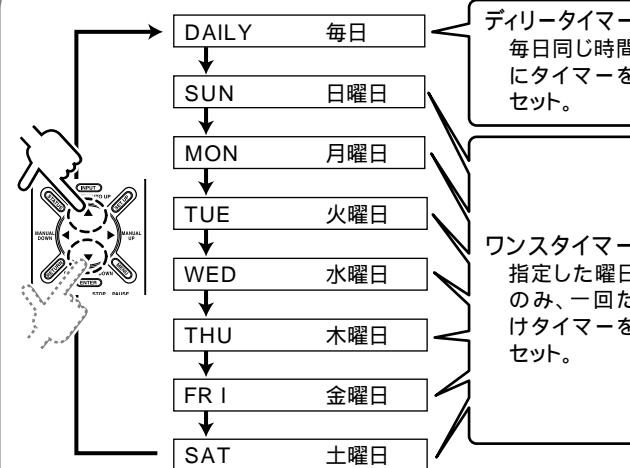
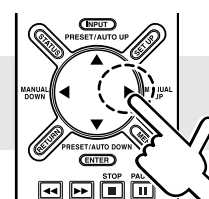
タイマーセットする前の準備

●時計を合わせてから行ってください（40ページ参照）。
●タイマー再生またはタイマー録音する音源を準備します。

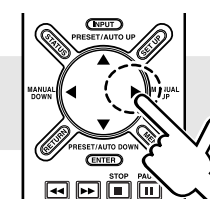
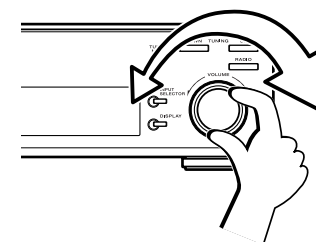
CDをタイマーで再生する場合…CDのディスクを入れます。
ラジオをタイマーで再生する場合…タイマー動作させる放送局をプリセットメモリーの中から受信します。
MDをタイマーで再生する場合…MDのディスクを入れます。好みの曲を聴く場合はプログラムしてください。ランダムモードの場合はランダム再生できます。
ラジオをMDへタイマー録音する場合…録音用のディスクを入れます。タイマー録音する場合はアナログ入力（ANALOG IN）を選択し録音レベルを調整しておきます。

① 音源を選ぶ

※以前一度でもタイマーのセットを行っていれば、このキーを長押しすることで、最後にセットした内容のタイマーを呼び出しセットすることができます。

目覚まし時計のように使うには

① TIMER キーを長押しし、設定してあるタイマー設定を呼び出します。
② 朝起きたら、TIMER キーを長押しして、タイマーを解除します。

②

時間を入力します。

時間の入力のしかたは、40ページ“時刻を合わせる”③④を行ってください。

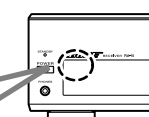
40ページ“時刻を合わせる”③④

③

タイマーがセットされると表示部にタイマーの内容が表示されます。

インジケータについて

DAILY　**DAILYを選ぶと点灯します。**
ONCE　**SUN〜SATを選ぶと点灯します。**

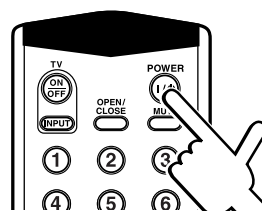
④

タイマー動作したときの音量を決めます。

⑤ 電源を切る

タイマー設定終了。

タイマー解除と内容の確認のしかた

・解除するには、①音源を選ぶ 操作のときに“TIMER OFF”を選んでENTERキーを押してください。
・電源ON時にTIMERキーを長押しして解除することができます。
・セットしたタイマーの内容を確認するときはリモコンのTIMERキーを押します。

リモコン

TV ON/OFF キー、INPUT キー
テレビの電源の ON/OFF(スタンバイ)と入力を切り換えます。設定のしかたは 20 ページ参照。

OPEN/CLOSE キー
ディスクトレーの開閉を行います。

POWER キー
電源の ON、スタンバイを切り換えます。

MUTE キー
音声を一時的に止めることができます。もう一度このキーを押すか、VOLUME キーを操作すると、ミュートは解除されます。

数字キー
○ **CD 時**…ダイレクト選曲、プログラム再生を行うときに押します。
○ **DVD ビデオ時**…ステータスバー表示時にこのキーを使って、チャプター選択、タイトル選択、タイムサーチを行います。また、視聴制限の暗証番号設定を行うときにも押します。
○**ラジオ時**…プリセットチャンネルを呼び出すときに押します。

CLEAR キー
・**タイマー設定時**…タイマー設定をキャンセルします。
・**CD プログラムモード時**…最後にプログラムされた曲を削除します。

▲ カーソルキー
○ **DVD ビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを上に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。
○ **ZOOM 時**…上の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**タイマーセット時**…内容の選択をするときに押します。
○**時刻合わせ**…内容を合わせるときに押します。
○**ラジオ時**…プリセットチューニングになります。このキーを押す度にプリセットチャンネルが一つづつ進みます。このキーを押し続けるとオートスキャンチューニングになります。
○ **MP3 時**…ファイルまたはフォルダーをを選択するときに押します。

INPUT キー
入力を切り換えます。

SET UP キー
○ **DVD ビデオ時**…システム設定画面を表示させます。もう一度押すと元の画面に戻ります。

STATUS キー
○ **DVD ビデオ時**…テレビ画面にトラック NO、チャプター NO、経過時間等を表示します。

◀ カーソルキー
○ **DVD ビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを左に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択内容を切り換えるときに押します。
○ **STATUS BAR**…選択項目を左に移動するときに押します。
○ **ZOOM 時**…左の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**タイマーセット時**…一つ前の項目に移動するときに押します。
○**時刻合わせ**…一つ前の項目に移動するときに押します。
○**ラジオ時**…マニュアルチューニングできます。

MENU キー
メニュー画面を呼び出します。

RETUEN キー
システム設定画面、ステータス画面表示中にこのキーで元の画面に戻ります。

▶▶(早送り)キー
○ **DVD ビデオ、CD モード時**…キーを押す度に早送りの速度が上がります。

▶ カーソルキー
○ **DVD ビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを右に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。
○ **STATUS BAR**…選択内容を右に移動するときに押します。
○ **ZOOM 時**…右の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**タイマーセット時**…次の項目に移動するときに押します。
○**時刻合わせ**…次の項目に移動するときに押します。
○**ラジオ時**…マニュアルチューニングできます。

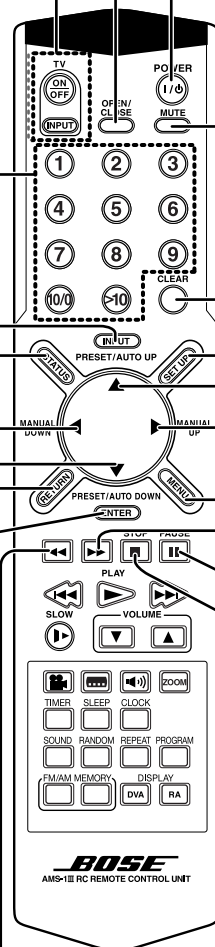
ENTER キー
各設定を決定するときに押します。

▼ カーソルキー
○ **DVD ビデオ再生中**…メニュー画面でカーソルを下に移動させるときに押します。
○**システム設定画面**…選択項目を切り換えるときに押します。
○ **ZOOM 時**…下の方に拡大したい部分があるときに押します。
○**タイマーセット時**…内容の選択をするときに押します。
○**時刻合わせ**…内容を合わせるときに押します。
○**ラジオ時**…プリセットチューニングになります。このキーを押すたびにプリセットチャンネルが一つづつ戻ります。このキーを押し続けるとオートスキャンチューニングになります。
○ **MP3 時**…ファイルまたはフォルダーをを選択するときに押します。

❚❚ PAUSE(ポーズ)キー
DVD ビデオ、CD 再生中に押すと、再生を一時停止します。さらにもう一度押すと、DVD ビデオ以外の場合は再生を開始、DVD ビデオではコマ送りを行います。

■ STOP(ストップ)キー
○**音楽 CD ディスクのとき**
・**通常再生、ランダム再生モード時**…RESUME(リジューム)状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。
・**リピート再生モード時**…RESUME(リジューム)状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。
・**プログラム再生モード時**…RESUME(リジューム)状態で停止します。もう一度押すとプログラムの内容を残したまま停止します。さらにもう一度押すとプログラムモードが解除され完全停止します。
・**プログラム時**…最後にプログラムした一曲を削除できます。
○**DVD ビデオ時**…PLAY、PAUSE 中に押すと、RESUME(リジューム)状態で停止します。もう一度押すと完全に停止します。

◀◀(早戻し)キー
○ **DVD ビデオ、CD モード時**…キーを押す度に早戻しの速度が上がります。

リモコン

⏮（選曲）キー

○**音楽CDディスクのとき**

・**通常再生モード時**…再生中の曲の先頭へ移動します。もう一度押すと、一つ前の曲の先頭に移動します。

・**ランダム再生モード時**…再生中の曲の先頭に移動します。

・**プログラム再生モード時**…再生中の曲の先頭へ移動します。もう一度押すと、一つ前のプログラム曲の先頭に移動します。ただし、1曲目の場合はキーを受け付けません。

○**DVDビデオ時**

・**PLAY、PAUSE中**…一つ前のチャプターの先頭に移動します。停止中はキーを受け付けません。

・**タイトルリピートモード時**…一つ前のチャプターの先頭に移動します。停止中はキーを受け付けません。

・**チャプターリピートモード時**…再生中のチャプターの先頭に移動します。

○**MP3再生時**…MP3を再生中は、一つ前の曲へ移動します。

⏭（選曲）キー

○**音楽CDディスクのとき**

・**通常再生モード時**…次の曲の先頭に移動します。停止中および最終曲再生中は1曲目に移動します。

・**ランダム再生モード時**…次の曲の先頭に移動します。最終曲のときは受け付けません。ただし、ランダムオールリピート時は新たなランダム1曲目に移ります。

・**ALL REPEAT再生モード時**…通常再生モード時と同じですが、最終曲時は1曲目に移動します。

・**プログラム再生モード時**…次のプログラム曲の先頭へ移動します。プログラム最終曲時はキーを受け付けません。ただし、プログラムオールリピートモードの最終曲時はプログラム1曲目に移動します。

○**DVDビデオ時**

・**PLAY、PAUSE中**…次のチャプターの先頭に移動します。ただし、停止中および、最終タイトル・最終チャプター再生時はキーを受け付けません。

・**タイトルリピートモード時**…PLAY、PAUSE中と同様に動作しますが、再生中のタイトル・最終チャプター時は再生中のタイトルの先頭チャプターに移動します。停止中はキーを受け付けません。

・**チャプターリピートモード時**…再生中のチャプターの先頭に移動します。

○**MP3再生時**…MP3を再生中は、次の曲へ移動します。

▶ SLOWキー

DVDビデオ再生時にスローモーション再生(順方向のみ)になります。

（アングル切換）キー

マルチアングルで収録されたDVDビデオを再生中、アングルを切り換えるときに押します。

（字幕切換）キー

字幕が収録されたDVDビデオを再生中、字幕言語の切り換えや字幕表示のON/OFFを行います。

TIMERキー

このキーとカーソルキー、数字キーを使ってタイマーをセットします。また、スタンバイの時にタイマーをセットしてあれば、このキーを押すと、タイマーの内容をチェックできます。長押しすると最後にセットした内容のタイマーを呼び出してセットすることができます。タイマーセット済のときにこのキーを長押しするとタイマーをOFFすることができます。

SLEEPキー

スリープタイマーのセットができます。

SOUNDキー

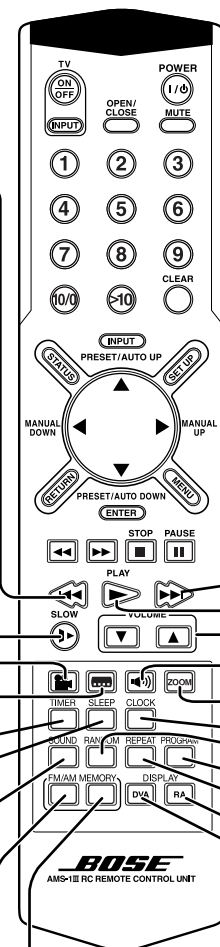
音響のバランスを設定するときに押します。

FM/AMキー

入力ソースをラジオに切り換えます。キーを押す度に、FMとAMを切り換えます。

MEMORYキー

プリセットチャンネルの登録やNAME IN、エリアファインメモリーの設定などで使います。

▶ PLAYキー

ディスクの再生を行います。

VOLUME（音量）キー

音量の上げ下げを行います。

ZOOMキー

画面を拡大して見たいときに押します。カーソルキーで拡大したい部分を選んでください。

（音声切換）キー

DVDビデオの音声言語を切り換えます。

CLOCKキー

時刻の設定や時計表示に切り換えるときに使います。

RANDOMキー

○**音楽CDディスクのとき**

・**通常再生モード時**…ディスクの中の全ての曲を重複しないで順不同に再生します。

○**MP3再生時**…選択したフォルダ内のファイルを順不同に再生します。

PROGRAMキー

○**音楽CDディスクのとき**

・**通常再生モード時**…プログラム再生を行うときに押します（28ページ参照）。

REPEATキー

CD、MP3、DVDビデオのリピート再生を行います。

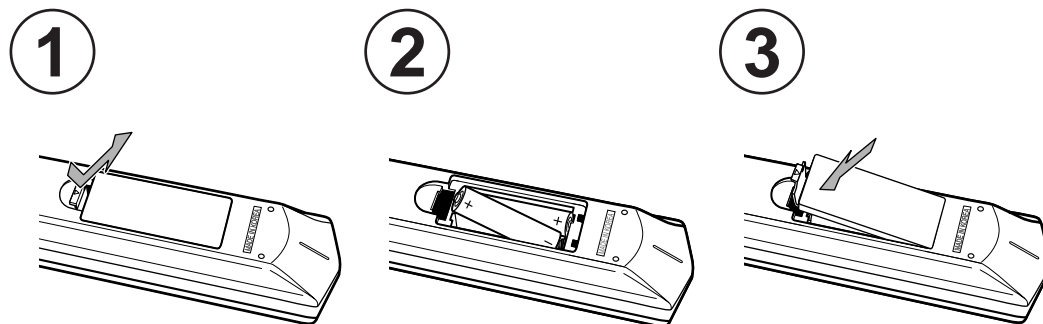
DISPLAY DVAキー

DVDプレーヤー（DVA-15）の表示部の内容を切り換えるときに押します。

DISPLAY RAキー

ステレオレシーバー（RA-15）の表示部の内容を切り換えるときに押します。

リモコンの取り扱いについて

電池の入れ方

●付属の乾電池は動作チェック用です。早めに新しい乾電池と交換してください。

⚠ 電池についての注意

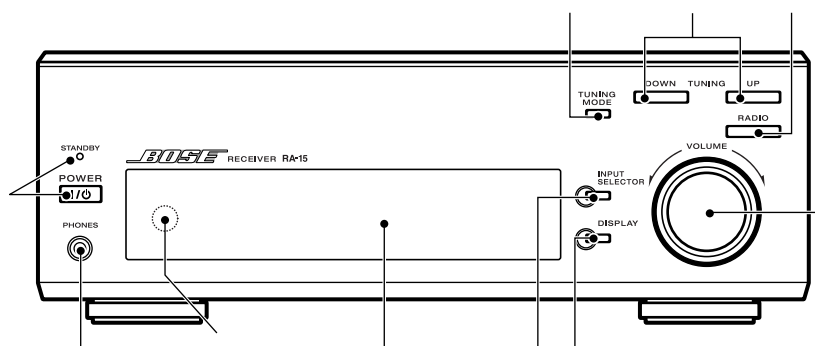
- 乾電池の⊕と⊖の向きを電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの動作範囲

⚠ 使用上の注意

- メディアセンターの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。
- リモコンとメディアセンターの受光部の間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。

●電池の交換時期について

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状が出てきたらリモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンをお使いになる前に

付属のTVメーカーシールはリモコンの裏側に貼ってお使いになることをおすすめします。

ステレオレシーバー（RA-15）前面

① **POWER/STANDBY（パワー／スタンバイ）電源スイッチとSTANDBY（スタンバイ）インジケーター**
このスイッチを押すと文字表示部が点灯して電源が入ります。もう一度押すと電源が切れてSTANDBYインジケーター（赤）が点灯します。

ご注意
電源スイッチをオフにしても、回路の一部には電流が流れ続けます（スタンバイインジケーターが点灯して電源が供給されていることを示します）。長期間ご使用にならないときは、安全のため本機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

② **TUNING MODE（チューニングモード）キー**
AMまたはFM選局のとき、プリセットコール、マニュアル選局、スキャン選局の切り換えを行います。

③ **TUNING DOWN/UPキー**
周波数の上げ下げや、プリセットされた放送局で選択したときに使用します。

④ **RADIO（AM/FM）キー**
AMまたはFM放送の切り換えを行います。またラジオ以外の音源を聴いていると、このキーを押すとラジオに切り換わります。

⑤ **VOLUME（ボリューム）つまみ**
音量を調節します。

⑥ **DISPLAYキー**
表示部の表示を切り換えます。

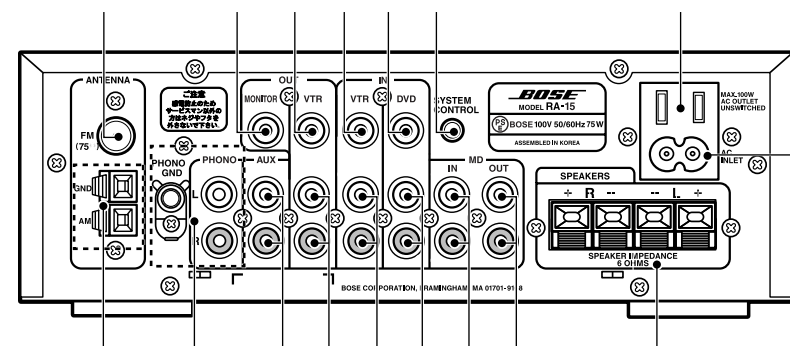
⑦ **INPUT SELECTORキー**
本機で再生する音源を切り換えます。

⑧ **表示部**
いろいろな情報を表示するところです。

⑨ **受光部**
内部にリモートコントローラーから出された赤外線を受光する部分があります。リモートコントローラーの送信部をここに向けて操作してください。

⑩ **PHONES（ヘッドホン）ジャック**
ステレオヘッドホンで演奏を聴くときに、ヘッドホンのプラグをこのジャックに差し込みます。ヘッドホンを使用する際は、耳をあまり刺激しないよう適度な音量に調整して演奏をお楽しみください。

※ヘッドホンのプラグをジャックに差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。

ステレオレシーバー（RA-15）背面

① **FMアンテナ**

② **AMアンテナ**

③ **PHONO入力端子**
※レコードプレーヤー（MM型）以外は接続できません。

④ **モニター映像（コンポジット）出力端子**

⑤ **外部（AUX）音声入力端子**

⑥ **VTR録画映像（コンポジット）出力端子**

⑦ **VTR録音音声出力端子**

⑧ **VTR映像（コンポジット）入力端子**

⑨ **VTR音声入力端子**

⑩ **DVD映像（コンポジット）入力端子**

⑪ **DVD音声入力端子**

⑫ **SYSTEM CONTROL（システムコントロール）**
DVDレコーダー（DVA-15）とシステムコントロールケーブルで接続します。

⑬ **MD音声入力端子**

⑭ **MD音声出力端子**

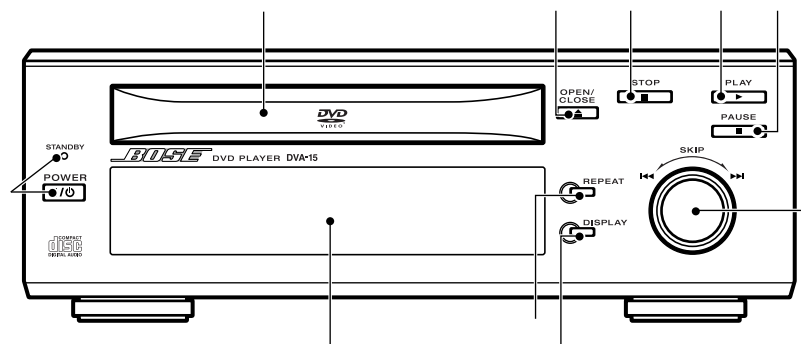
⑮ **スピーカー出力端子**

⑯ **AC OUTLET UNSWITCHED**
非連動（最大容量100W）の電源コンセントです。パワースイッチに関係なく常に電源が供給されています。

⑰ **AC INLET**
商用電源AC100V（50/60Hz）のコンセントに接続します。

DVDプレーヤー（DVA-15）前面

① **POWER/STANDBY（パワー／スタンバイ）電源スイッチとSTANDBY（スタンバイ）インジケーター**
このスイッチを押すと文字表示部が点灯して電源が入ります。もう一度押すと電源が切れてSTANDBYインジケーター（赤）が点灯します。

ご注意
電源スイッチをオフにしても、回路の一部には電流が流れ続けます（スタンバイインジケーターが点灯して電源が供給されていることを示します）。長期間ご使用にならないときは、安全のため本機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

② **CD/DVDトレー**
CD、MP3またはDVDのディスクをこのトレイに置きます。シングルCD（8cm）をアダプターなしでかけられます。

③ **⏏ OPEN/CLOSE**
CD/DVDトレーのイジェクトとロードを行います。

④ **■（ストップ）キー**
各ディスク再生中にこのキーを押すと再生が中止されます。

⑤ **►（プレイ）キー**
各ディスクを再生するときに押します。

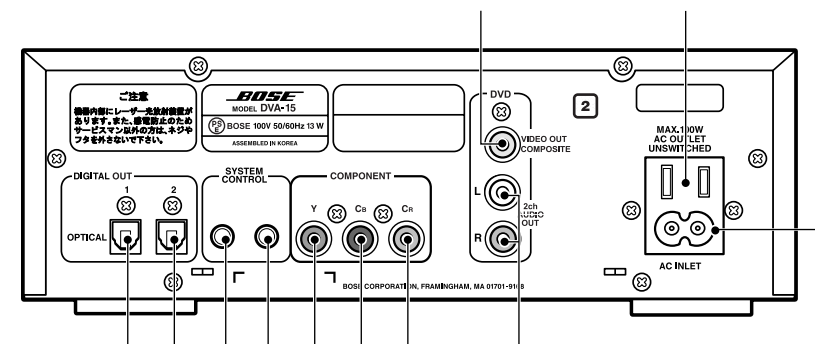
⑥ **II（ポーズ）キー**
DVDビデオ、CD再生中に押すと再生を一時停止します。さらにもう一度押すとDVD以外の場合は再生を開始します。DVDビデオではコマ送りを行い、PLAYキーを押すと再生を開始します。

⑦ **I◄◄ ►►I（SKIP/スキップ）つまみ**
DVDの頭出し、プログラム再生時の選曲を行うとき回します。

⑧ **DISPLAY（ディスプレイ）キー**
表示部の時間表示を切り換えます。

⑨ **REPEAT（リピート）キー**
繰り返し（リピート）再生が行えます。

⑩ **表示部**
いろいろな情報を表示するところです（54ページ参照）。

DVDプレーヤー（DVA-15）背面

①② **DIGITAL OPTICAL OUT（光デジタル出力端子）**
光デジタル信号を出力する端子です。角型、EIAJ標準光デジタルケーブルを使ってこの端子に接続します。

③④ **SYSTEM CONTROL（システムコントロール）**
ステレオレシーバー（RA-15）、MDレコーダー（別売MDA-15）とシステムコントロールケーブルで接続します。

⑤ **コンポーネント映像出力端子（Y）**

⑥ **コンポーネント映像出力端子（CB）**

⑦ **コンポーネント映像出力端子（CR）**

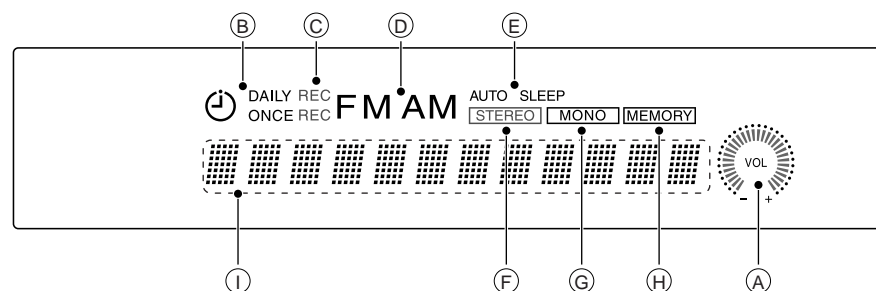
⑧ **DVD映像（コンポジット）出力端子**

⑨ **DVD音声出力端子**

⑩ **AC OUTLET UNSWITCHED**
非連動（最大容量100W）の電源コンセントです。パワースイッチに関係なく常に電源が供給されています。

⑪ **AC INLET**
商用電源AC100V（50/60Hz）のコンセントに接続します。

各部の名称および機能

ステレオレシーバー（RA-15）の表示部

Ⓐ **VOL（音量表示）**
本機の音量を表示します。

Ⓑ **DAILY/ONCE（タイマー）インジケーター**
ワンスタイマー（43ページ）、デイリータイマー（43ページ）、を設定すると点灯します。

Ⓒ **REC（録音）インジケーター**
タイマー録音を設定すると点灯し、タイマー録音時に点滅します。

Ⓓ **FM/AM（受信バンド）インジケーター**
チューナー時、受信しているバンドを表示します。

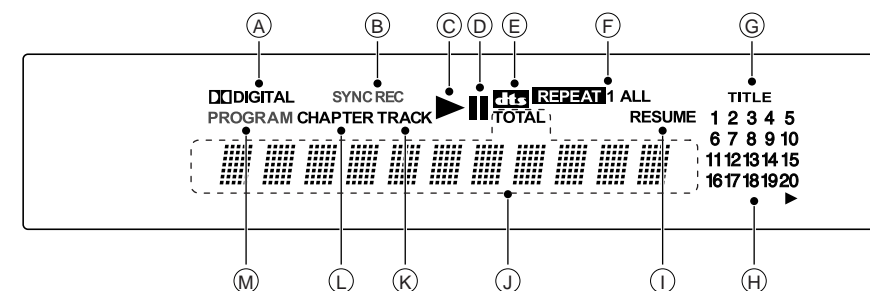
Ⓔ **AUTO SLEEPインジケーター**
オートスリープを選ぶと点灯します。スリープ選択時にはSLEEPのみ点灯します。

Ⓕ **STEREO（ステレオ）インジケーター**
FM放送のステレオ放送を受信すると点灯します。

Ⓖ **MONO（モノ）インジケーター**
マニュアル受信時に点灯します。

Ⓗ **MEMORY（メモリー）インジケーター**
プリセットメモリーされている放送局を受信すると表示されます。また、マニュアル選局で放送局をメモリーすると、プリセットした番号とともに表示されます。

Ⓘ **キャラクター表示部**
時刻表示、受信周波数表示、ステーションコール（プリセットした放送局に名前を付けたもの）表示、ファンクション表示などを行います。

DVDプレーヤー（DVA-15）の表示部

Ⓐ **DIGITAL（ドルビーデジタル）インジケーター**
DVDビデオの音声ソースがドルビーデジタルのとき点灯します。

Ⓑ **SYNC REC（シンクレック）インジケーター**
システム接続でMDとのCDシンクロ録音のとき点灯します。

Ⓒ **▶（プレイ）インジケーター**

Ⓓ **II（ポーズ）インジケーター**
再生を一時停止しているときに点灯します。

Ⓔ **dts（DTS）インジケーター**
DVDビデオの音声ソースがDTSのとき点灯します。

Ⓕ **REPEAT 1 ALL（リピート／1曲リピート、全曲リピート）インジケーター**

Ⓖ **TITLEインジケーター**
DVDビデオ再生時に点灯します。

Ⓗ **ミュージックカレンダー（1～20）インジケーター**
・21曲以上収録されている場合は ▶ が点灯します。
・DVDビデオ時はタイトル番号を表示します。

Ⓘ **RESUME（リジューム）インジケーター**
RESUMEで停止しているときに点灯します。
CDの再生を ■ STOPキーまたは、INPUTキーで切り換えて停止させた場合、次回再生をすると最後に再生していたところから開始します。

Ⓙ **演奏時間表示部**
曲番号表示、チャプター番号表示、演奏時間表示などを行います。

Ⓚ **TRACK（曲番号表示）インジケーター**

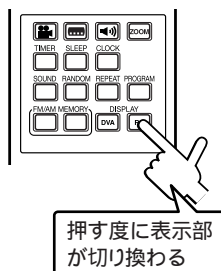
Ⓛ **CHAPTER（チャプター番号表示）インジケーター**

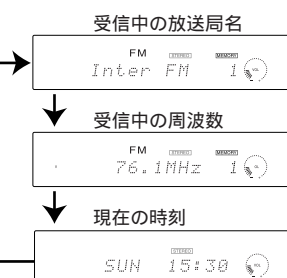
Ⓜ **PROGRAM（プログラム演奏）インジケーター**

表示部の切り換えについて

RA-15の表示部の切り換えについて

●RADIO以外の音源を選択中

現在選択中の音源
CD/DVD
↓
現在の時刻
SUN 15:30

●RADIOを再生中
※放送局名が登録してある場合のみ。

受信中の放送局名※
Inter FM 1
↓
受信中の周波数
76.1MHz 1
↓
現在の時刻
SUN 15:30

DVA-15の表示部の切り換えについて

●CDを再生中

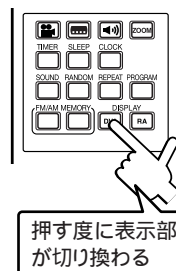
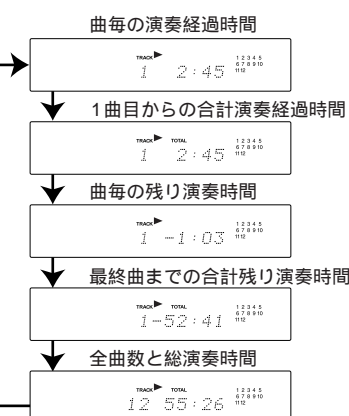
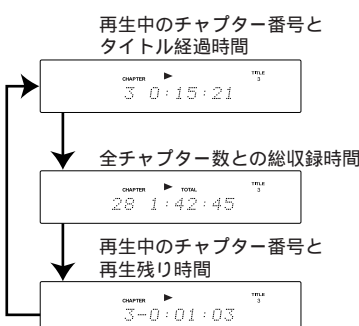
曲毎の演奏経過時間
1 2:45
↓
1曲目からの合計演奏経過時間
1 2:45
↓
曲毎の残り演奏時間
1 -1:03
↓
最終曲までの合計残り演奏時間
1-52:41
↓
全曲数と総演奏時間
12 55:26

●MP3を再生中

曲名
1 MUSIC_0
↓
曲毎の経過時間
1 2:45

●DVDを再生中

再生中のチャプター番号とタイトル経過時間
3 0:15:21
↓
全チャプター数との総収録時間
28 1:42:45
↓
再生中のチャプター番号と再生残り時間
3-0:01:03

室内音響に合わせて調整

左右の音響バランスの調整

スピーカーの置かれる左右の壁は同じ材質、同じ面積であることが望ましいのですが、実際には左右の壁の状況が異なってしまっている場合があります。そういう状況では、どうしても左右の音響バランスを整えることが重要になります。本機では左右の音量微調整ができます。

※本機のバランス調整は微調整を行うために設計されていますので、変化量は微少レベルに設定しています。

中央

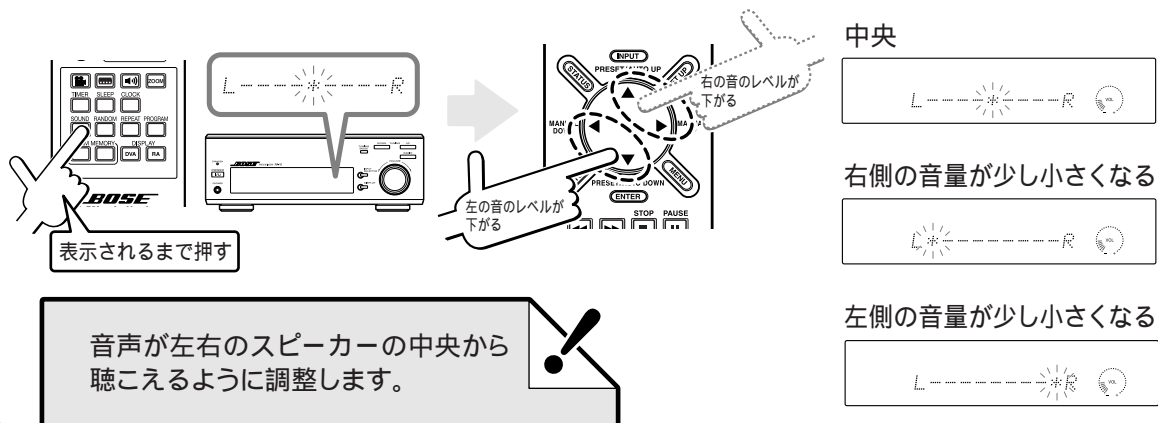
L----*----R

右側の音量が少し小さくなる

L*--------R

左側の音量が少し小さくなる

L--------*R

●音声が左右のスピーカーの中央から聴こえるように調整します。

高域、低域の音響バランス調整

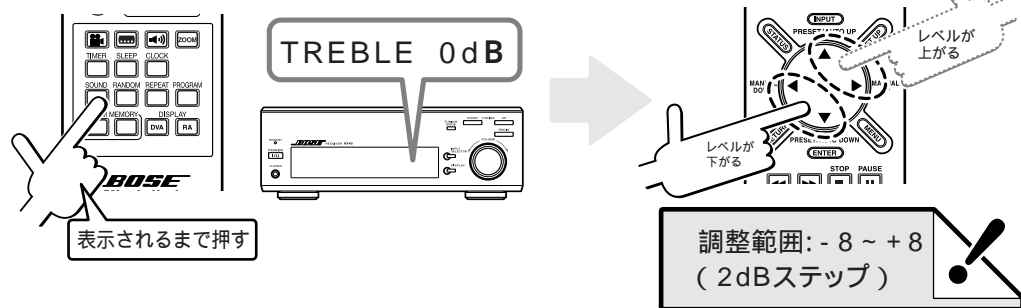
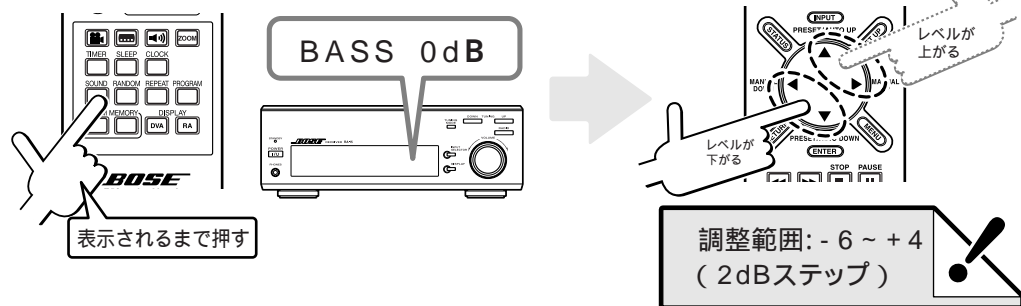
部屋の音響効果は、ステレオシステムの全体的な音質に影響を与えることがあります。ルームアコースティックコンペンセーター機能を上手に使って、よりよい音響効果が得られるように、部屋の特性に合わせて調整してください。

高域部分の調整

●調整範囲:−8〜+8（2dBステップ）

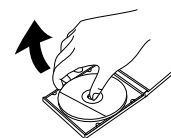
低域部分の調整

●調整範囲:−6〜+4（2dBステップ）

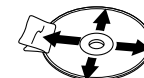
ディスクについて

結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。プレーヤーも冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ（ピックアップのレンズ部分）に露が生じ（結露）、レーザーによるディスクからの信号読み取りができず、プレーヤーが動作しないことがあります。

このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれプレーヤーは正常に動作するようになります。

ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずディスク専用のクリーナーを使用して下の図のように拭いてください。

※ディスクは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用すると、ディスクの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。

ディスク保管上の注意

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

●直射日光の当たる場所。
●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
●車の中などの高温になる場所。
●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
●極端に寒い場所。
●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
●屋外や直接水のかかるところ。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください。
七色に輝く面が表面です。レーベル面が裏面になります。従来のレコードプレーヤーと異なり、プレーヤーは、レーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読み取ります。したがってディスクは従来のレコードのように、使っているうちに性能が劣化するようなことはありません。

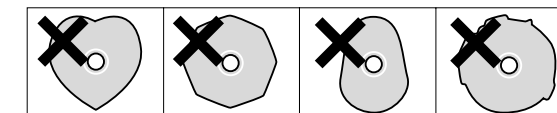
・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

・再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

・ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ディスクは、2枚以上重ねて置いたり、ディスク以外のものをトレーの上に置いたりしないでください。故障の原因になります。

・市販のディスク用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

⚠ 注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがや故障の原因となることがあります。

故障かな？っと思ったら

サービスの依頼をする前に

サービスのご用命の前に取扱説明書をよくお読みいただき、操作、接続の確認、セットの故障でない雑音等についてご面倒ですが今一度、お確めください。サービスのご依頼で実際に点検してみますと故障でない場合がございます。

本機は高性能コンピューターを複数搭載している関係で、外部からの雑音や妨害ノイズにより正確に動作しないことがあります。この場合はステレオレシーバーの電源プラグをACコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていないか、はずれている。	RA-15、DVA-15の電源プラグをコンセントに差し込みます。
音が出ない	システムコントロールケーブルやスピーカーケーブルが正しく接続されていない。	8〜9ページを参考にして、接続を確認してください。
	表示部の音量表示が点滅している。	リモコンのMUTE(ミュート)キーを押して点滅を止めてください。
	ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンが接続されていると、スピーカーからは音が出ません。ヘッドホンを使用しないときは、抜いておいてください。
	プロテクター回路が働いている。	スピーカー端子のショートなどでスレテオレシーバーのプロテクター回路が働くと、音が出なくなります。この場合は、スレテオレシーバーの電源プラグを抜き、原因を取り除いてから再度差し込んでください。
急に電源が切れた	スリープタイマーが働いている。	リモコンのSLEEP(スリープ)キーを押すと、スリープタイマーが動き始めます。 キーを何度か押してインジケーターを消してください。
CD/DVDの演奏ができない	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にしてディスクをセットしてください。
	ディスクにキズやソリがある。	ディスクを取り変えて演奏してみてください。
	ピックアップレンズが結露している。	ディスクを取り出し、電源を入れたままで1時間ぐらい待ってから再び演奏してください。
放送が受信できない	アンテナの接続や設置が正しく行われてない。	12〜13ページのアンテナの接続を参考にアンテナとアンテナケーブルの接続、アンテナの方向などをチェックしてください。
リモコンによる操作ができない	乾電池が消耗している。 途中に障害物がある。	2本とも新しい乾電池に交換してください。
時計表示が消えた 放送のプリセットが消えた タイマーのセットが消えた	次の理由で電源が切れた。 ・ステレオレシーバーのプラグを抜いた ・停電が起きた ・配電盤のブレーカーが働いた	電源が切れた場合は、時刻のセット(40ページ)、放送局のプリセット(24ページ)、タイマーの使いかた(42ページ)をやり直してください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障及び修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社 ☎ **042-357-5250**
　住所　〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル
製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社インフォメーションセンター ☎ **03-5489-0955**
までご連絡ください。

用語解説

コンポーネント映像信号 ‥‥ 映像信号を輝度信号（Y）、色差信号Pr（R-Y）、色差信号Pb(B-Y)の3つに分けて送るため、Sビデオ信号よりさらに質の高い映像が得られる。

コンポジット映像信号 ‥‥‥ 輝度、色および同期情報を含んでいる、一本のビデオ信号。NTSCとPALはコンポジットビデオ信号の種類。

DD D、DD DOLBY DIGITAL ‥‥‥‥‥ ドルビー研究所によって開発された音声圧縮技術のドルビーデジタルの登録商標ロゴマーク。ドルビーデジタル方式の音声圧縮はDVDビデオでは最も一般的な音声圧縮方法。

dts ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ DVDディスクで採用されているマルチチャンネルサラウンド音声の圧縮方式の一つ。

DVD ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 12cmおよび8cmの光ディスクを使用した映画、音楽、コンピューターなど様々な用途に応用される大容量光ディスクの規格。デジタル・ビデオ・ディスクまたはデジタル・バーサタイル・ディスクの頭文字。

DVDビデオ ‥‥‥‥‥‥‥‥ 読み出し専用DVDにビデオ（動画や音声）を収録する規格のこと。画像にMPEG-2、音声にDolby AC-3の圧縮方式を用いて、片面1層のディスクに2時間程度の映画を1本収録できる。音声は、リニアPCM、MPEGオーディオ、DTS等がある。ユーザーが好みのカメラアングルを選択再生できるマルチアングル機能や、最大8ストリームの音声、最大32カ国語の字幕スーパーを選択再生できるマルチランゲージ機能など、多くの機能を持っている。

レターボックス ‥‥‥‥‥‥ 標準(4：3)の画面に16：9の映画などの画像を画面の左右いっぱいまで映して上下に余白を入れる表示モード。このモードでは縦横比が正しく、全ての映像が表示されるが、上下に黒い帯が入り、表示面積が小さくなってしまう。

MP3 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ MPEG Audio Layer 3を略したもの。MPEGオーディオの1方式。MPEGオーディオは音声情報を圧縮するための規格で、音声ファイルを圧縮するやり方の違いによって、レイヤー1(Layer 1)からレイヤー3までの3通りが規定されている。
・Layer1：圧縮率1/4(ステレオ)
・Layer2：圧縮率1/6〜1/8(ステレオ)
・Layer3：圧縮率1/10〜1/12(ステレオ)
したがって、一番圧縮率の高いMP3方式では、1枚のCDに通常の約10倍の曲を収録できる。

パン・スキャン ‥‥‥‥‥‥ 標準(4：3)の画面に16：9の映画などの画像を元のままの縦横比で映し、映像の左右をカットして画面全体に表示する。

PCM ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ アナログ信号を圧縮せずに、デジタルでコード化された信号。これはCDおよびレーザーディスクに使用されたデジタルオーディオ信号の形式。

YPbPr ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ コンポーネントビデオ信号のこと。

アスペクト（縦横）比 ‥‥‥‥ テレビ画面の横（幅）と縦（高さ）の比率。標準のテレビ画面は4:3でワイドテレビの画面が16:9である。

チャプター ‥‥‥‥‥‥‥‥ DVDでの正式な用語ではpart of title(パートオブタイトル：PTT)と呼ぶ。チャプターが入っているディスクでは、見たいシーンのサーチができる。

MPEG ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ディスクに音声や映像を記録するためのデータ圧縮方式の一つ。

タイトル ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ビデオクリップの集合。チャプターが集まったものがタイトルで、タイトルが集まったものが一枚のディスク。ただし、一つのチャプターで構成されるタイトルもあれば、一つのタイトルで構成されるディスクもある。

トラック ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ オーディオ・テープやディスクに記録された選択できる個々のデータの単位。CDでは 曲（1トラック目=1曲目）ともいう。

その他

仕様

（改良のため、予告なく意匠、仕様の一部を変更することがあります。）

ステレオレシーバー（RA-15）

外形寸法：230（W）×82（H）×293（D）mm
標準質量（質量）：3.7kg（本体のみ）

FM部
周波数範囲（STEP）：76.0〜90.0MHz（100kHzステップ）
実用感度：11dBf（MONO）
SN比：70dB以上（65dBf）
周波数特性
　ステレオ：30〜15,000Hz（−1dB）
歪率
　モノラル：0.5%以下（1kHz、65dBf）
　ステレオセパレーション：40dB以上（1kHz）

AM部
周波数範囲（STEP）：522〜1,629kHz（9kHzステップ）
実用感度（ループアンテナ）：45dBμV/m
全高調波歪率：1.5%以下
SN比：40dB以上（999kHz、50mV input）

アンプ部
実用最大出力：35W＋35W（1kHz THD0.1%、6Ω）
全高調波歪率：0.04%以下（6Ω、15W 1kHz）
負荷インピーダンス：6Ω〜16Ω
入力感度／入力インピーダンス
CD、MD、AUX：200mV／47kΩ
　PHONO：2.5mV／47kΩ
最大許容入力（1kHz）
　CD、MD、AUX：2.0V
周波数特性
　CD、MD、AUX：20〜100,000Hz（±0.5dB、1W）
SN比
　AUX：87dB以上（IHF-A）
　PHONO：75dB以上
チャンネルセパレーション：70dB

その他
電源電圧：AC100V
電源周波数：50／60Hz
消費電力：70W（電気用品安全法）
　　　　省エネモード時：約1W
電源コンセント非連動（最大）：100W

ステレオレシーバー（RA-15）の付属品

リモコン	1	AMループアンテナ	1
単4乾電池（チェック用）	2	ビデオケーブル	1
電源コード	1	TVメーカーシール	1
T型 FMアンテナ	1		

DVDプレーヤー（DVA-15）

外形寸法：230（W）×82（H）×275（D）mm
標準質量（質量）：2.3kg（本体のみ）

周波数特性：20〜20,000Hz（±0.5dB）
出力電圧：1.7V rms
全高調波歪率：0.005%以下
SN比：100dB以上（A-WTD）
ワウ＆フラッター：測定限界値以下
ピックアップ：3ビーム・レーザー

その他
電源電圧：AC100V
電源周波数：50／60Hz
消費電力：13W（電気用品安全法）約5W(スタンバイ時)
電源コンセント非連動（最大）：100W

DVDプレーヤー（DVA-15）の付属品

AVピンケーブル	1
システムコントロールケーブル	1
電源コード	1

音楽著作権について

●放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
●従ってそれらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
●使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）のもよりの支部におたずねください。

社団法人日本音楽著作権協会　本部　TEL.03（3481）2121　URL　http://www.jasrac.or.jp/

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
（私的録音補償金についてのお問い合わせ先：社団法人　私的録音補償金管理協会電話：03-5353-0336）

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社
〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷YTビル　TEL 03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1265
05•01-F-F•1(I-M)